

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅠ (Carrier PlanningⅠ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林田 新太郎
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日1時限

【授業の学習内容】

- ・担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人になる心構えや一般教養・ホスピタリティを理解する。
- ・各種イベントの成功を共同目標として取り組み、ホスピタリティをもって仲間と協力する。

※担当教員：中学校・高等学校社会科教員免許取得。13年間義務制学校勤務。

【到達目標】

- ・学生としての心構え・マナーを理解し、主体性をもって行動することができる。
- ・各種イベントを通して、協調性を身につける。
- ・1年間の流れ及び卒業までの大まかな流れを理解し、目標を立てて行動することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ガイダンス、前期及び1年間の流れ確認、授業の進め方、クラス組織作り
2回目	学生生活及び学生としての心構え・マナー① / チームマネジメント：仲間を知る、クラスの取り組み・目標決め、学園祭に向けて①
3回目	学生生活及び学生としての心構え・マナー② / キャリアデザイン：GWの過ごし方 / チームマネジメント：学園祭に向けて②
4回目	学生生活及び学生としての心構え・マナー③ / キャリアデザイン：GWの振り返り / チームマネジメント：学園祭に向けて③
5回目	学生生活及び学生としての心構え・マナー④ / チームマネジメント：学園祭に向けて④
6回目	「成功の原則」について
7回目	「成功の原則」の振り返り、今後の過ごし方や目標設定
8回目	チームマネジメント：学園祭に向けて⑤
9回目	学園祭及の振り返り(グループワーク)、社会人に必要な人間性について考える
10回目	業界に必要とされる人とは(グループ毎に発表)
11回目	夏季休暇に向けて
12回目	チームマネジメント：スポーツフェスタに向けて① / 夏季休暇について
13回目	チームマネジメント：スポーツフェスタに向けて② / 夏季休暇の振り返り(個人及びグループワーク)
14回目	前期試験及び振り返り
15回目	チームマネジメント：スポーツフェスタに向けて③ / 前期の振り返り及び後期に向けて
準備学習 時間外学習	・各自イベントや授業等に向けて目標設定を行う。 ・日々の記録を取り、各自振り返りを行う。
評価方法	出席(課題を含む)、授業への参加・理解度・・・70% 期末試験・・・30%
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルプリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニング I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林田 新太郎
	(Carrier Planning I)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日4時限
【授業の学習内容】 ・担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えや一般教養やホスピタリティを身につけ、実践する。 ・各種イベントの成功を共同目標として取り組み、相手の意見を尊重しホスピタリティマインドを身につけ実践する。 ※担当教員：中学校・高等学校社会科教員免許取得。13年間義務制学校勤務。							
【到達目標】 ・学生としての心構えや責任を理解し、主体性をもって行動することができる。 ・各種イベントや、試験に向けて他者と協力をして目的や目標を達成することができる。 ・前期の各自の行動を振り返り、計画を立てて行動することができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	後期の流れ、各自計画・目標立て
2回目	【個人・グループワーク】後期の目標設定及びクラス運営について
3回目	就職活動における基礎知識①
4回目	就職活動における基礎知識②
5回目	就職活動における基礎知識③
6回目	就職活動における基礎知識④
7回目	就職活動における基礎知識⑤
8回目	We are ECOIに向けて①
9回目	We are ECOIに向けて②
10回目	We are ECOIに向けて③
11回目	We are ECOIに向けて④
12回目	入学してからの振り返り、今年1年に向けて
13回目	就職活動及び業界研修について
14回目	後期試験及び振り返り / 業界で求められる人材及びスキルとは(個人及びグループワーク)
15回目	1年間の振り返り及び今後の目標(※1名ずつ発表)
準備学習 時間外学習	・各自イベントや授業等に向けて目標設定を行う。 ・日々の記録を取り、各自振り返りを行う。
評価方法	出席(課題を含む)、授業への参加・理解度・・・70% 期末試験・・・30%
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルプリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ (Improving Communication Skills)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	セレーノ・コーポレーション
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1時限
【授業の学習内容】 社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。 ※担当教員：各種セミナー（話し方、傾聴、新入社員研修等）を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施。							
【到達目標】 12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指すと共に、豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	授業の進め方、オリエンテーション（自己紹介）、コミュニケーションの定義【P9～】
2回目	第一印象（コミュニケーションの定義、メラビアンの法則、笑顔の作り方）【P14～】 基本的対話スキル、会話のプロセス
3回目	基本的対話スキル 「話し方」【P18～】
4回目	基本的対話スキル 「聴き方」【P23～】
5回目	基本的対話スキル 「グループでの会話」【P34～】
6回目	ロープレ：情報共有、整理・集約のゲーム①、中間試験対策
7回目	中間試験、自己表現スキル 「挨拶」「自己表現」【P42～】
8回目	中間評価フィードバック、自己表現スキル 「上手な頼み方、断り方」「自己主張」【P46～】
9回目	自己表現スキル 「報連相」「会議・ミーティング」【P60～】
10回目	自己表現スキル 「アンガーマネジメント」【P80～】
11回目	社会的スキル 「基本的な社会的スキル」【P94～】
12回目	社会的スキル 「挨拶」「敬語」「電話対応」【P96～】
13回目	前期評価テスト 対策
14回目	前期評価テスト 実施 試験後、教科書のポイントを再度伝え、内容を理解させる
15回目	前期評価テスト 解説 後期の授業の進め方
準備学習 時間外学習	次週の授業内容の範囲を、教科書を読み、わからない言葉・言い回しを抜き出しておくこと。
評価方法	試験100%
【使用教科書・教材・参考書】 コミュニケーションスキルアップ検定（JESC）	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ (Improving Communication Skills)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	セレーノ・コーポレーション
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1時限
【授業の学習内容】 社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。 ※担当教員: 各種セミナー(話し方、傾聴、新入社員研修等)を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施。							
【到達目標】 12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指すと共に、豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	ロープレ:ビジネス電話検定、電話対応ゲーム
2回目	社会的スキル 「接客」「訪問」【P105～】
3回目	社会的スキル 「謝罪」【P112～】
4回目	ロープレ:接客、訪問、名刺交換
5回目	社会的スキル 「ビジネス文書」「メール」「FAX」「SNS」【P116～】
6回目	中間試験対策
7回目	中間試験、サービスマインドとは
8回目	中間評価フィードバック DVD鑑賞 マナーの本質 「相手を思いやる心」
9回目	サービスマインド 「サービスとは」「サービスの心得」【P126～】
10回目	サービスマインド 「サービス基本要素」【P132～】
11回目	ロープレ:ビジネスシュミレーションゲーム(敬語・電話対応・訪問・接客)
12回目	謝罪(謝る、お詫びする) マナーを意識した行動
13回目	後期期末試験対策
14回目	後期期末試験、ビジネスシュミレーションワーク
15回目	1年間の総復習、ロープレ
準備学習 時間外学習	次週の授業内容の範囲を、教科書を読み、わからない言葉・言い回しを抜き出しておくこと。
評価方法	試験100%
【使用教科書・教材・参考書】 コミュニケーションスキルアップ検定(JESC)	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	千葉恵一
	(Practice of Computer)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3時限
【授業の学習内容】 業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく 前期は「Word」を使い「レポート」や「写真を貼った文章」が作れるように勉強していく。また、安全にインターネットを利用できるように「ITリテラシー」も勉強する 前期・後期をまたぎ「PowerPoint」でスライド作成の勉強をする。 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。 ※実務者経験 滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(23年)							
【到達目標】 教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる Wordを使ってレポート作成が出来るようになる 安全にインターネットを利用できるようになる 「We are ECO」のスライドが作れるようになる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション／ITリテラシー①
2回目	ITリテラシー②
3回目	Wordの基本操作①
4回目	Wordの基本操作②
5回目	Wordの基本操作③
6回目	Wordの基本操作④
7回目	Wordの基本操作⑤
8回目	Word中級編①
9回目	Word中級編②
10回目	Word中級編③
11回目	Wordの応用①
12回目	Wordの応用②
13回目	Wordの応用③
14回目	期末評価/Wordの応用まとめ
15回目	PowerPoint基礎①
準備学習 時間外学習	課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい) 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。 授業後の内容確認としてパソコン操作のを確認する
評価方法	小テスト(20%)＋中間評価テスト(30%)＋期末テスト(50%) ※中間・期末の評価は提出作品(Word作品提出)
【使用教科書・教材・参考書】 Word office365&2021 COMPUTER BASIC of Windows (株式会社滋慶出版) Excel office365&2021 COMPUTER BASIC of Windows (株式会社滋慶出版)	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	千葉恵一
	(Practice of Computer)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3時限
【授業の学習内容】 業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく 前期は「Word」を使い「レポート」や「写真を貼った文章」が作れるように勉強していく。また、安全にインターネットを利用できるように「ITリテラシー」も勉強する 前期・後期をまたぎ「PowerPoint」でスライド作成の勉強をする。 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。 ※実務者経験 滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(23年)							
【到達目標】 教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる Wordを使ってレポート作成が出来るようになる 安全にインターネットを利用できるようになる 「We are ECO」のスライドが作れるようになる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	PowerPoint基礎(印刷、スライドマスター、切り替え効果、アニメーション)
2回目	PowerPoint課題提出
3回目	Excelの基礎①
4回目	Excelの基礎②
5回目	Excelの基礎③
6回目	Excelの基礎④
7回目	Excel中級編①
8回目	Excel中級編②
9回目	Excel中級編③
10回目	Excel中級編④
11回目	Excelの応用①
12回目	Excelの応用②
13回目	Excelの応用③
14回目	期末評価/Excel応用まとめ
15回目	まとめ(Word・Excel・PowerPoint)
準備学習 時間外学習	課題提出の準備として、事前の画像・映像などの撮影チェック(スマートフォンでできる範囲でよい) 授業の予習として、わからない言葉や内容の部分を自宅のネット環境で調べられる範囲の予習。 授業後の内容確認としてパソコン操作のを確認する
評価方法	小テスト(20%)＋中間評価テスト(30%)＋期末テスト(50%) ※中間・期末の評価は提出作品(PowerPoint作品提出・Excel作品提出)
【使用教科書・教材・参考書】 Word office365&2021 COMPUTER BASIC of Windows (株式会社滋慶出版) Excel office365&2021 COMPUTER BASIC of Windows (株式会社滋慶出版)	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物の体のしくみ (Animal Anatomy and Physiology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石飛 綾
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日4時限
【授業の学習内容】							
この授業では、各臓器の正常な状態(形・位置・色・機能など)について学ぶ。体のしくみ、と聞くと、各部位の名称を覚えることが中心で、仕事で行う内容とは縁遠い印象があるかもしれないが、皆さんが現場で行うケアとは関連がある。例えば、歯の構造を学ぶことによって、歯のケアを行うときの注意点や、口内に起きやすい問題と対策方法がわかる。教科書には、その部分に多い病気についても記載があるので、正常な機能と比較をしながら解説をしていく。							
※担当教員実務経験: 神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。また、「到津の森公園」にて3年半、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。							
【到達目標】							
①各臓器の正常な形・位置・色・機能などを理解し、説明することができる。 ②各臓器の正常(健康)時と異常(病気)時の違いを比較し、説明することができる。 ③現場で動物の健康チェックを行う時に、異常に気づくことができる 病気の動物に対するケアに活用することができることを目標とする。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	授業の目的・進め方、骨格系について①
2回目	骨格系について② 外皮系について①
3回目	外皮系について② 消化器系について①
4回目	消化器系について②
5回目	消化器系について③
6回目	消化器系について④
7回目	中間評価試験、振り返り
8回目	中間評価試験の返却及び解説
9回目	泌尿器系について①
10回目	泌尿器系について② 呼吸器系について①
11回目	呼吸器系について② 循環器系について①
12回目	循環器系について②
13回目	感覚器系について
14回目	期末評価試験、振り返り
15回目	期末評価試験の返却及び解説
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが、初めて学習する内容となる。理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにし、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単に話すので、内容の整理に使うと効果的。専門用語に関しては、その都度解説する。
評価方法	●中間評価試験45% ●期末評価試験45% ●授業内評価10%の割合で評価
【使用教科書・教材・参考書】	
滋慶教育科学研究所「イラストで見る動物の体のしくみ」	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物の健康管理 (Animal Health Management)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石飛 綾
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日4時限
【授業の学習内容】 この授業では、動物を病気にさせないための手段である予防(ワクチン・フィラリア症・寄生虫・不妊去勢手術)について学ぶ。 ※担当教員実務経験: 神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。また、「到津の森公園」にて3年半、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。							
【到達目標】 ワクチン・フィラリア症・寄生虫・不妊去勢手術について、以下の①～③を目標とする。①予防の重要性や、予防のしくみ、具体的な予防方法について、理解できる ②目的①の内容について、人に説明をすることができる ③現場でどのような予防対策を行えばよいかを考え、実行することができる、飼い主の方に予防について説明やアドバイスができる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	授業の目的、進め方、ワクチン接種について①
2回目	ワクチン接種について②
3回目	ワクチン接種について③
4回目	ワクチン接種について④
5回目	ワクチン接種について⑤ フィラリア症について①
6回目	フィラリア症について②
7回目	中間評価試験、振り返り
8回目	中間評価試験の返却及び解説
9回目	外部寄生虫について①
10回目	外部寄生虫について②
11回目	不妊去勢手術のメリット・デメリットについて
12回目	内部寄生虫について①
13回目	内部寄生虫について②
14回目	期末評価試験、振り返り
15回目	期末評価試験の返却及び解説
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが、初めて学習する内容となる。理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにし、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単に話すので、内容の整理に使うと効果的。専門用語に関しては、その都度解説する。
評価方法	●中間評価試験45% ●期末評価試験45% ●授業内評価10%の割合で評価
【使用教科書・教材・参考書】 参考書:小方 宗次 編 カラーアトラス 最新 くわしい犬の病気大図典 誠文堂新光社	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アニマルベーシック (Basic Animal Study)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西嶋 武頼
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日3時限
【授業の学習内容】							
動物に関わる仕事に就く人が知っておくべき生物の基礎知識について、生物知識、動物医療、飼育現場、環境保全の観点から全般的に解説する。							
【到達目標】							
①生物多様性について理解し、説明できる。 ②DNA・タンパク質について理解し、説明できる。 ③生物の進化・分類について理解し、説明できる。 ④病気・免疫・公衆衛生について理解し、説明できる。 ⑤飼料・五大栄養素について理解し、説明できる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション
2回目	生物多様性・外来種と絶滅危惧種・環境問題 1回目
3回目	生物多様性・外来種と絶滅危惧種・環境問題 2回目
4回目	DNA・遺伝子・進化・分類 1回目
5回目	DNA・遺伝子・進化・分類 2回目
6回目	DNA・遺伝子・進化・分類 3回目
7回目	中間試験及び解説
8回目	病気・公衆衛生・免疫 1回目
9回目	病気・公衆衛生・免疫 2回目
10回目	病気・公衆衛生・免疫 3回目
11回目	代謝・血液 1回目
12回目	代謝・血液 2回目
13回目	運動・分泌・五大栄養素
14回目	期末試験及び解説
15回目	全体の振り返り及び解説
準備学習 時間外学習	1. 講義内容の該当ページに対応する事前・事後学習 2. 講義で取扱えなかった教科書の課題レポート 【2.の追加説明】本講義アニマルベーシックでは、生物学全般の分野を取り扱う。しかしながら、生物学全般という範囲はあまりにも膨大すぎるため、取り扱えない領域の分野を時間外学習に当てている。
評価方法	1. 授業内評価(例:講義受講態度、講師による質問に対する回答意欲) 10% 2. 出席状況 40% 3. 期末評価・レポート提出50%
【使用教科書・教材・参考書】	
ECO業界で役立つ基礎生物(株式会社滋慶出版)	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アニマルヒストリー (History of Animals and Human)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	本村 直子
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日2時限
【授業の学習内容】 人と動物の関わりには民族性や宗教、歴史的な背景などが大きく関わっている。この授業では、我々人間と動物がどの様に関わってきたのか(動物との関わり(歴史)また、日本においてもこれから求められる「動物福祉」を理解する事で、グローバルな流れを学ぶ。 ※担当教員実務経験:犬の飼育環境やコミュニケーション等、飼い主と愛犬の暮らしをサポートするコンパニオンアニマル・アドバイザー。 飼い主とその愛犬の暮らしをより豊かなものにする為のカウンセリングやマナースクール、セミナーを開催。							
【到達目標】 文化や生活様式、宗教や時代背景による動物観の違いを理解している。 自分自身のもつ動物観を認識している。 日本人と動物との関わり方を理解している。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	授業内容とすすめ方、自己紹介
2回目	人と動物との関わり(飼育動物と野生動物との関わりについて理解する)
3回目	人と動物との関わり(家畜との関わり…家畜の定義を理解する)
4回目	人と動物との関わり(家畜との関わり…家畜の分類を理解する)
5回目	人と動物との関わり(家畜との関わり…家畜の分類を理解する)
6回目	日本人と動物との関わり(日本人と家畜との関わりを理解する)
7回目	日本人と動物との関わり(仏教の動物観を理解する)
8回目	日本人と動物との関わり(神道の動物観を理解する)
9回目	日本人と動物との関わり(日本人の動物観の歴史を理解する)
10回目	日本人と動物との関わり(明治以降の動物観を理解する)
11回目	西洋人と動物との関わり(「キリスト教」の影響を理解する)
12回目	西洋人と動物との関わり(西洋の動物虐待の背景を理解する)
13回目	西洋人と動物との関わり(虐待から保護へとどう変わっていったのかを理解する)
14回目	評価試験および振り返り
15回目	動物福祉(アニマルウェルフェア)とは？(動物福祉について正しく理解する)
準備学習 時間外学習	「自分たちがどういった動物との関わりの中で生活しているのか?」「動物の幸せとは?」について考えてまとめておくこと。動物に関するニュースや出来事について、情報収集しておくこと。 授業での学びをノート等にまとめておくこと。
評価方法	筆記試験で100%評価
【使用教科書・教材・参考書】 動物年表で見るアニマルヒストリー(滋慶出版) アニマルウェルフェアとは何か?(岩波ブグレッド) 日本の動物観(東京大学出版会)	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コンパニオンドッグ (Companion Dog)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	寺田 光徳
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日2時限
【授業の学習内容】 犬種の歴史、犬体、犬種の特徴などを習得すると共に、血統書の見方や登録方法も学びます。 ※担当教員実務経験：JKC福岡県クラブ連合会会長、JKC九州ブロックハンドラー委員会常任委員を務め、ドッグショーの審査、及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。							
【到達目標】 最新の犬種図鑑を通してJKC(ジャパン・ケネル・クラブ)に登録してある犬種(歩様、毛色、犬種ごと欠点など)を全て熟知してもらう。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	犬の歴史、スタンダードについて
2回目	犬体名称、骨格、噛み合わせ、について
3回目	犬種のグループ解説 1グループ (シープドッグ&キャトルドッグ)について
4回目	犬種のグループ解説 1グループ (シープドッグ&キャトルドッグ)について
5回目	犬種のグループ解説 1グループ (シープドッグ&キャトルドッグ)について
6回目	犬種のグループ解説 2グループ (ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種、スイスマウンテンドッグ&スイスカトルドッグ、関連犬種)について
7回目	犬種のグループ解説 2グループ (ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種、スイスマウンテンドッグ&スイスカトルドッグ、関連犬種)について
8回目	ドッグショーDVD鑑賞
9回目	犬種のグループ解説 2グループ (ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種、スイスマウンテンドッグ&スイスカトルドッグ、関連犬種)について
10回目	犬種のグループ解説 2グループ (ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種、スイスマウンテンドッグ&スイスカトルドッグ、関連犬種)について
11回目	犬種のグループ解説 3グループ(テリア)について
12回目	犬種のグループ解説 3グループ(テリア)について
13回目	犬種のグループ解説 3グループ(テリア)について
14回目	評価試験および振り返り
15回目	犬種のグループ解説 3グループ・4グループ (テリア・ダックスフンド)について
準備学習 時間外学習	最新犬種図鑑
評価方法	筆記試験(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 次の授業予定の最新犬種図鑑の内容を予習しておくこと。	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	コンパニオンドッグ (Companion Dog)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	寺田 光徳
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日2時限
【授業の学習内容】 犬種の歴史、犬体、犬種の特徴などを習得すると共に、血統書の見方や登録方法も学びます。 ※担当教員実務経験：JKC福岡県クラブ連合会会長、JKC九州ブロックハンドラー委員会常任委員を務め、ドッグショーの審査、及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。							
【到達目標】 最新の犬種図鑑を通してJKC(ジャパン・ケネル・クラブ)に登録してある犬種(歩様、毛色、犬種ごと欠点など)を全て熟知してもらう。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	犬種のグループ解説 5グループ (スピッツ&プリミティブタイプ)について
2回目	犬種のグループ解説 5グループ (スピッツ&プリミティブタイプ)について
3回目	犬種のグループ解説 5グループ (スピッツ&プリミティブタイプ)について
4回目	犬種のグループ解説 1グループ (シープドッグ&キャトルドッグ)について
5回目	犬種のグループ解説 7グループ (ポインティングドッグ)について
6回目	犬種のグループ解説 7グループ (ポインティングドッグ)について
7回目	犬種のグループ解説 8グループ (レトリーパー、フラッシングドッグ、ウオータードッグ)について
8回目	ドッグショーDVD鑑賞
9回目	犬種のグループ解説 8グループ (レトリーパー、フラッシングドッグ、ウオータードッグ)について
10回目	犬種のグループ解説 9グループ (コンパニオンドッグ・トイドッグ)について
11回目	犬種のグループ解説 9グループ (コンパニオンドッグ・トイドッグ)について
12回目	犬種のグループ解説 9グループ (コンパニオンドッグ・トイドッグ)について
13回目	犬種のグループ解説 10グループ (サイトハウンド)について
14回目	評価試験および振り返り
15回目	犬種のグループ解説 10グループ (サイトハウンド)について
準備学習 時間外学習	最新犬種図鑑
評価方法	筆記試験(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 次の授業予定の最新犬種図鑑の内容を予習しておくこと。	

2024年度 シラバス

科目名 +A1:H39 (英語表記)	コンパニオンキャット (Companion Cat)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石本 美樹
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日2時限
【授業の学習内容】 猫は犬と同じように人にとって身近な動物ではあるが、様々な点で猫特有の性質を持っている。この授業では、猫の歴史・習性を中心に学び、猫という動物について理解し、正しい知識を得ることを目標とする。 ※担当教員実務経験：サンフラワーキャットクラブ理事。 アビシニアン、ベルシャのブリーダーを経てペットシッターやキャットトレーナーなど猫と人の豊かな生活を支援する活動を行う。							
【到達目標】 ネコを扱う上で必要となる習性や行動を説明できる。 ネコの体の特徴を説明できる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己紹介 講義の進め方 猫のイメージって何？
2回目	猫の歴史・進化・分類
3回目	猫のルーツ・古代エジプト～ ・リビアヤマネコについて
4回目	神格化されたネコと暗黒時代（エジプト～ヨーロッパ）世界への拡大
5回目	日本ネコのルーツ（縄文～平安時代～鎌倉時代～江戸時代～現代）日本のキャットショーの歴史
6回目	ネコの習慣と行動 ※1Wの猫のイメージから発展させる 特徴(ツンデレ・なつきにくい・単独→飼い主の存在)
7回目	ネコの狩り・遊びについて
8回目	仔育て（出産育児中の行動）、排卵、発情
9回目	テリトリー・マーキングについて
10回目	体(平均的な体格と寿命)
11回目	歯の特徴 食べ方について
12回目	目・鼻・耳・被毛について
13回目	運動性・筋肉・骨格について 振り返り
14回目	前期期末テスト、解説
15回目	グルーミングについて
準備学習 時間外学習	授業で学ぶ時代について中学・高校で学んだ内容を復習しておくこと。 学んだ猫の特徴について、自宅や学校の猫を観察し理解を深めること。
評価方法	筆記試験 85% 授業内評価 15% ※受講態度・あいさつ・積極的な発言を評価
【使用教科書・教材・参考書】 猫の教科書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	犬の飼養管理 (Dog Nutrition and Feeding)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高原 志保
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1時限
【授業の学習内容】 犬を飼育するにあたって、犬の社会化や安心して過ごせる環境への配慮、その他法令等、飼い主として果たすべき責任・配慮が必要とされる。この授業では、動物福祉施設及び動物病院での勤務、一般家庭犬のしつけの仕事を行う講師から、仕事での実務経験を基にした犬の飼育に必要な環境や対応を学ぶ。 ※担当教員実務経験:動物福祉の現場や動物介在活動に長年関わってきた講師が授業を行う。							
【到達目標】 犬と人との関わりについて説明できる。 人間社会において犬と生活する為の飼い主の責務及びマナーを説明できる。 犬のライフステージにおける成長と必要なしつけに関して説明できる。 授業を通して様々な価値観に触れ、自分なりの飼養感を育て言葉にすることが出来る。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	ガイダンス・自己紹介
2回目	人の犬の関わり方の歴史
3回目	HAB 破壊作用
4回目	動物愛護法と適正飼育基準
5回目	動物愛護法と適正飼育基準
6回目	犬嫌いの人のワーク
7回目	犬のライフステージ
8回目	犬のライフステージ
9回目	犬のライフステージ
10回目	犬を迎える
11回目	犬を迎える
12回目	家庭犬のしつけ・マナー
13回目	家庭犬のしつけ・マナー
14回目	テスト及び振り返り
15回目	テスト返却、解答、解説および振り返り 犬を送る
準備学習 時間外学習	配布プリントや教科書の予習、まとめなどの復習を行う。 レポートの作成。 小テストの実施と復習を行う。
評価方法	筆記試験/授業内評価 期末評価(筆記):50% 小テスト、レポート評価:50%
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント 新聞・ネットの動物(犬)飼育に関する記事	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	トリミング理論Ⅰ (Theory of Grooming-Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	酒井 志保
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日2時限
【授業の学習内容】 グルーミング(トリミング)を実技するに当たって必要な基礎知識を学ぶ。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得。 2023年よりビションフリーゼのブリーディング継続創設。サロンmarshmallomanの代表。 ジャパンケネルクラブ公認審査員。							
【到達目標】 トリミング演習で必要なグルーミングの基礎知識を理解し実技に活かせるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	トリミング理論説明 プリント説明
2回目	犬について プリント使用 Teams活用
3回目	小型犬・中型犬・大型犬について プリント使用 Teams活用
4回目	グルーミング・トリミングについて プリント使用
5回目	被毛の構造 プリント使用
6回目	ブラッシングについて プリント使用
7回目	シャンプーについて プリント使用
8回目	骨格 プリント使用
9回目	犬体の名称 プリント使用
10回目	メディカル プリント使用
11回目	シングルコート・ダッフルコート プリント使用
12回目	トリミング犬種 グルーミング犬種 プリント使用
13回目	プードルについて プリント使用
14回目	プードルについて プリント使用
15回目	第2回目～第14回目 まとめ
準備学習 時間外学習	様々な犬に興味をもち、本、図鑑を読む。 実技にトリミング理論を活かす。
評価方法	授業内評価100% ノート提出
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶グルーミングテキスト JKCドッググルーミングマニュアル JKCスタンダード図鑑	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	トリミング理論Ⅰ (Theory of Grooming-Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	酒井 志保
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日2時限
【授業の学習内容】 グルーミング(トリミング)を実践するに当たって必要な基礎知識を学ぶ。 犬の健康維持促進のためには犬自体を清潔に保つ必要がある。この科目では犬のグルーミングを行う目的や効果を理解し、実践する際に共通認識として把握しておくべき用語を学ぶとを目的とする。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得。 2023年よりビションフリーゼのブリーディング継続創設。サロンmarshmallomanの代表。 ジャパンケネルクラブ公認審査員。							
【到達目標】 トリミング演習で必要なグルーミングの基礎知識を理解し実技に活かせるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	スタンダードとトリミング 環境とトリミング
2回目	ショートトリミング・ペットトリミング
3回目	プードル スタンダード改
4回目	プードル トリミング ショークリップ ①
5回目	プードル トリミング ショークリップ ②
6回目	ビションフリーゼ トリミング
7回目	ペドリントンテリア ケリーブルーテリア トリミング
8回目	ブラッキングの必要性 トリミング
9回目	長脚テリア・短脚テリアのトリミング
10回目	スパニエル犬種のトリミング
11回目	犬種別トリミング 短毛
12回目	犬種別トリミング 長毛
13回目	ブラッシングについて
14回目	シャンプーイングについて
15回目	グルーミング検定対策 ノート提出
準備学習 時間外学習	苦手箇所の克服。
評価方法	授業内評価・ノート提出物100%
【使用教科書・教材・参考書】 JKCグルーミングマニュアル 滋慶グルーミングテキスト	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グルーミング演習 (Dog Bathing Practice)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松野美貴
		授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3～5時限
【授業の学習内容】 ・グルーミングの基本を実際のモデル犬を使って学ぶ。 ・犬に慣れ、犬を適切に保定できるようになる。 ※担当教員実務経験：JKC公認トリマーライセンスC級取得。 全国展開しているペットサロン・ショップにてトリマーとして従事。							
【到達目標】 ・90分でトリミング前の作業ができるようになる。(COMグループグルーミング検定B級合格) ・思うようにシザーリングができるようになる。 ・ペットクリップを理解する。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己紹介 道具確認 当番決め ECO犬、プードル、2人1頭 犬の扱い説明
2回目	チワワ説明 2人1頭 シャンプーなし デモンストレーション フルール シャンプーブロー
3回目	ダックス説明 2人1頭 シャンプーなし 水曜の犬と同じ犬 シャンプーブロー
4回目	ダックス2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
5回目	ダックス2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー チワワ2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
6回目	ダックス2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー トイプードル2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
7回目	チワワ2人1頭 パリカン、足回りカット A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
8回目	ダックス2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
9回目	マルチーズヨークシャテリア 1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
10回目	トイプードル2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
11回目	トイプードル2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
12回目	ビションフリーゼ10頭 ECO犬テディ 担当決め A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
13回目	シーズー マルチーズ ヨーキー 2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
14回目	トイプードル2人1頭 A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
15回目	ビションフリーゼ10頭 ECO犬テディ 担当決め A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー
準備学習 時間外学習	レポート ノート記入
評価方法	授業内評価 50点 レポート提出50点
【使用教科書・教材・参考書】 モデル犬・レポート・プリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グルーミング演習 (Dog Bathing Practice)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松野美貴
		授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3～5時限
【授業の学習内容】 ・グルーミングの基本を実際のモデル犬を使って学ぶ。 ・犬に慣れ、犬を適切に保定できるようになる。 ※担当教員実務経験：JKC公認トリマーライセンスC級取得。 全国展開しているペットサロン・ショップにてトリマーとして従事。							
【到達目標】 ・90分でトリミング前の作業ができるようになる。(COMグループグルーミング検定B級合格) ・思うようにシザーリングができるようになる。 ・ペットクリップを理解する。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	プードル 2人1頭 プードルにバリカン週1でいれていく A班 B班
2回目	シーズー マルチーズ ヨーキー ダックス 2人1頭 A班 B班
3回目	中型犬 A班5頭 大型犬 B班3頭 シャンプー
4回目	プードル 2人1頭 A班 B班
5回目	シーズー マルチーズ ヨーキー ダックス 2人1頭 A班 B班
6回目	中型犬 B班5頭 大型犬 A班3頭 シャンプー
7回目	プードル 2人1頭 A班 B班
8回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン 2人1頭 ブローカット プードル 2人1頭 ラムクリップ ブローバリカン
9回目	マルチーズ ヨーキー A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー プードル 2人1頭 ラムクリップ ブローバリカン 様子を見て1人1頭へ
10回目	マルチーズ ヨーキー A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー プードル 2人1頭 ラムクリップ ブローバリカン 様子を見て1人1頭へ
11回目	マルチーズ ヨーキー A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー プードル 2人1頭 ラムクリップ ブローバリカン 様子を見て1人1頭へ
12回目	マルチーズ ヨーキー A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー プードル 2人1頭 ラムクリップ ブローバリカン 様子を見て1人1頭へ
13回目	マルチーズ ヨーキー A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー プードル 2人1頭 ラムクリップ ブローバリカン 様子を見て1人1頭へ
14回目	マルチーズ ヨーキー A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー プードル 2人1頭 ラムクリップ ブローバリカン 様子を見て1人1頭へ
15回目	マルチーズ ヨーキー A班 爪切り、耳掃除、ブラッシング B班 シャンプーブロー プードル 2人1頭 ラムクリップ ブローバリカン 様子を見て1人1頭へ
準備学習 時間外学習	レポート ノート記入
評価方法	授業内評価50点 レポート提出50点
【使用教科書・教材・参考書】 モデル犬・レポート・プリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅰ (Practice of GroomingⅠ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	川添淳司
		授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日2～5時限
【授業の学習内容】 グルーミングの基本を実際のモデル犬を使って学ぶ。 マネキンを使いプードルの基本の型をしっかりと学ぶ。 犬に慣れ犬を適切に保定できるようになる。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンスA級。 福岡市内ペットサロンのオーナー兼トリマー							
【到達目標】 90分でトリミング前の作業ができるようになる(グルーミング検定B級合格)。 思うようにシザーリングができるようになる。 ペットクリップを理解する。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己紹介 犬体書き 授業説明 トリミングの必要性について シザーリング
2回目	スタック 保定 犬体説明 プードル トリミング 犬体 シザーリング
3回目	ウィッグとき カット(直線) 犬体 シザーリング
4回目	展開図説明 ウィッグ(足まわりカット) 展開図 シザーリング
5回目	マネキン 足まわり 犬体 シザーリング
6回目	マネキン 直線 展開図 シザーリング
7回目	生体 トリミング 犬体 シザーリング
8回目	マネキン BODY 展開図 シザーリング
9回目	マネキン BODY 犬体 シザーリング
10回目	マネキン 足 展開図 シザーリング
11回目	マネキン クラウン ウィッグ(クラウン) 犬体 シザーリング
12回目	マネキン TOPライン 展開図 シザーリング
13回目	マネキン 仕上げ 犬体 シザーリング
14回目	生体 ラム 展開図 シザーリング
15回目	マネキン ラムチップ 犬体 シザーリング
準備学習 時間外学習	レポート作成 ノート作成 犬体 展開図
評価方法	授業内評価 30点 レポート、ノート作成 70点
【使用教科書・教材・参考書】 モデル犬 レポート プリント 写真 マネキン	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅰ (Practice of GroomingⅠ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	川添淳司
		授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日2～5時限
【授業の学習内容】 グルーミングの基本を実際のモデル犬を使って学ぶ。 マネキンを使いプードルの基本の型をしっかりと学ぶ。 犬に慣れ犬を適切に保定できるようになる。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンスA級。 福岡市内ペットサロンのオーナー兼トリマー							
【到達目標】 90分でトリミング前の作業ができるようになる(グルーミング検定B級合格)。 思うようにシザーリングができるようになる。 ペットクリップを理解する。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
2回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
3回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
4回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
5回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
6回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
7回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
8回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
9回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
10回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
11回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
12回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
13回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
14回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
15回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
準備学習 時間外学習	苦手な場所のトリミングを復習できるようにする。
評価方法	授業内評価 50点 ノート レポート提出物 50点
【使用教科書・教材・参考書】 モデル犬 自分のトリミング保存写真 レポート プリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	進級課題 (Level Advancement Study)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林田 新太郎
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。 ※担当教員：中学校・高等学校社会科教員免許取得。13年間義務制学校勤務。							
【到達目標】 学習成果(知識・技術)をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	進級課題とは① ～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは② ～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方 ～発表までの流れやスケジュールリングの確認～
4回目	テーマの決定 ～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習① ～自分(班)のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習② ～途中経過の報告～
7回目	実践学習③ ～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備① ～パワーポイント作成～
9回目	発表準備② ～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③ ～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④ ～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤ ～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り ～各自(班内)で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自(各班)で意見交換を随時行う。 また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容:80% ・課題への参加度:20%
【使用教科書・教材・参考書】 専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	海外実学研修 (Overseas Practical Training)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	現地各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	未定
【授業の学習内容】 国際教育の一環として、実際に海外での施設見学、特別講義、自由行動を通し国際性を身に付け、グローバル化する現代社会で活躍できる人材育成を目的とする。 ※担当教員実務経験:海外における現地実務従事者より指導頂く。							
【到達目標】 ・最先端の動物、環境に関わる知識や技術を理解し身に付ける。 ・これからの業界に必要な考え方を理解し身に付ける。 ・世界における日本の立場を理解する。 ・自身のキャリアをデザインする。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	訪問国、訪問施設を調べまとめる、班ごとに発表する
2回目	訪問国での施設見学、特別講義
3回目	訪問国での施設見学、特別講義
4回目	訪問国での施設見学、特別講義
5回目	訪問国での施設見学、特別講義
6回目	訪問国での施設見学、特別講義
7回目	訪問国での施設見学、特別講義
8回目	訪問国での施設見学、特別講義
9回目	訪問国での施設見学、特別講義
10回目	訪問国での施設見学、特別講義
11回目	訪問国での施設見学、特別講義
12回目	訪問国での施設見学、特別講義
13回目	訪問国での施設見学、特別講義
14回目	研修ノートのまとめ、レポート作成
15回目	海外実学研修の振り返り、発表、まとめ
準備学習 時間外学習	・【事前学習】訪問国、訪問施設を調べまとめる ・【事後学習】訪問施設を研修ノート及びレポートにまとめる
評価方法	・研修ノート、レポート(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 過去の海外実学研修ノート	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communivcation)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	ILC国際語学センター
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	未定
【授業の学習内容】							
好きな事について話すことができる。商品のレビューを読み、書くことができる。 平日、週末のアクティビティについて話すことができる。日常のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。 道順について尋ねる、また教えることができる。場所についての特徴について読み、書くことができる。 ※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。							
【到達目標】							
よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容			
1回目	個人的な情報をたずねる・説明する表現を学ぶ。Be 動詞を学ぶ、復習する。疑問代名詞[What]の使い方を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く。大文字、ピリオドの使い方を学ぶ。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	「はい」「いいえ」で答える質問における [Is / Are]の使い方を学ぶ。家族について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	年齢、誕生日に関する表現を学ぶ言い直すに関する言葉を学ぶ。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「友達や家族についての情報を比較する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	[it is]の使い方を学ぶ。家具について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	ホームシェアについてのメールを読む、書く。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	「現在形」陳述文を学ぶ (I, you, we)。好きな事について話す。	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	連絡を取り合う方法について話す。相手の話を聞いていることを示す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「好きな音楽について」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	「現在形」疑問文 (yes/no / WH-question)を学ぶ。時間・ルーティンについて話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	日常のアクティビティについてのレポートを読む、書く。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	[There (is, are), (a lot, some no)]の使い方を学ぶ。町にある場所について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	道順について尋ねる、また教える際に使う表現を学ぶ情報を確認する。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	前期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。		
評価方法	小テストの正解率にて評価 (前期小テスト合計30回の正解率＝100%で計算)		
【使用教科書・教材・参考書】			
EVOLVE1			

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communivcation)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	未定
【授業の学習内容】 週末に向けたアウトドア活動の計画を立てることができる。オンラインでの招待状を読み、書くことができる。 過去についての場所や出来事、過去の人について述べるができる。思い出の品についての記事やメールを読む、また書くことができる。 食べた食事について話すことができる。レストランのレビューを読む、また書くことができる。 ※担当教員:英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。							
【到達目標】 よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容			
1回目	「現在進行形」疑問文を学ぶ旅行について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	最近の出来事についてのブログ記事を読む、書く。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	[Can / Can't](能力)を使う陳述文・疑問文を学ぶ。自身のスキルや能力について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	自分の意見を述べる。自分はある仕事の適任者であることを説明する。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて話す」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	[like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ。使い分けがわかる旅行計画を立てる。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	旅行ガイドを読む、また場所の説明を書く。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	[be going to](陳述文)の使い方を学ぶ。週末に向けたアウトドア活動の計画について話す。	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	あることをやらないといけない理由を説明する。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画し、発表する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	「過去形」(was / were)の疑問文を学ぶ。色、記憶について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	思い出の品についての記事やメールを読む、書く。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	「過去形」の陳述文を練習する。スナック、軽食について話す。	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	[so / really] (強調する)の使い方を学ぶ。食べ物・飲み物を注文する。	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	後期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。		
評価方法	小テストの正解率にて評価 (前期小テスト合計30回の正解率＝100%で計算)		
【使用教科書・教材・参考書】			
EVOLVE1			

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別講義&見学 (Special Lecture)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15	開講区分	随時
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。
学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。

※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・動物業界に必要な知識や技術を理解し、身に付ける。
- ・動物業界に必要な人間力を理解し、身に付ける。
- ・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。
- ・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート(100%)
【使用教科書・教材・参考書】	
キャリアセンターの参考情報	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	イベント運営 (Event Management)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	各イベント実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員: 各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・企画立案、運営ができるようになる。
- ・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
- ・接客を知り、実践できるようになる。
- ・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
- ・予算管理を実践し習得する。
- ・スケジュールリングを理解し、実践できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備(50%) ・レポート(50%)
【使用教科書・教材・参考書】	
過去のイベント資料	

2024年度 シラバス

科 目 名 (英語表記)	特別課外活動	必修 選 択	必修選択	年 次	1	担当教員	各クラブ顧問
	(Club Activities)	授業形態	演習	総時間 (単位)	15	開講区分	随時
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業		(1)	曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
学友会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。							
【到達目標】							
・チームワークを身に付ける。 ・計画性を身に付ける。 ・予算管理を身に付ける。 ・マネジメントを理解し身に付ける。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)
【使用教科書・教材・参考書】	
・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書	

2024年度 シラバス

科 目 名 (英語表記)	ボランティア活動 (Volunteer Work)	必修 選択	必修選択	年 次	1	担当教員	各施設実務従事者
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー＆エステティシャン専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	15	開講区分	随時
	実施方法	対面授業	(1)		曜日・時限	随時	
【授業の学習内容】							
市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。							
※担当教員：各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。							
【到達目標】							
・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける ・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 過去のボランティア活動報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	林田 新太郎
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 各専攻で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。							
【到達目標】 ・各検定試験、資格試験の合格							

授業計画・内容	
1回目	資格取得講座
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 過去の各検定、資格教本	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅡ (Carrier planning-Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林田 新太郎
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日3時限
【授業の学習内容】							
・担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えや一般教養やホスピタリティを身につける。 ・各種イベントの成功を共同目標として取り組み、ホスピタリティをもって仲間と協力する。 ・業界に求められる人材やスキルを理解し、意識して仲間と意見交換を行いながら、実践する。							
※担当教員：中学校・高等学校社会科教員免許取得。13年間義務制学校勤務。							
【到達目標】							
・社会人になるために必要な一般教養や知識を身につけ、実践することができる。 ・各種イベントや、試験に向けて他者と協力をして目的や目標を達成することができる。 ・卒業に向けて、また卒業後のプランをイメージし、自己実現に向けて目標を立てて行動することができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	ガイダンス、前期及び1年間の流れ確認、授業の進め方、クラス組織作り
2回目	セルフマネジメント：前期の各自目標発表 / チームマネジメント：クラスの取り組み・目標決め・学園祭に向けて① / 社会人マナー・漢字テスト①
3回目	キャリアデザイン：GWの過ごし方、業界研修の目的や注意点の再確認 / チームマネジメント：学園祭に向けて② / 社会人マナー・漢字テスト②
4回目	就職活動に向けて② / チームマネジメント：学園祭に向けて③ / 社会人マナー・漢字テスト③
5回目	チームマネジメント：学園祭に向けて④ / 社会人マナー・漢字テスト④
6回目	キャリアデザイン：合同企業説明会に向けて① / 社会人マナー・漢字テスト⑤
7回目	キャリアデザイン：合同企業説明会に向けて② / 社会人マナー・漢字テスト⑥
8回目	チームマネジメント：学園祭に向けて⑤ / 社会人マナー・漢字テスト⑦
9回目	学園祭及び合同説明会の振り返り(グループワーク) / 社会人マナー・漢字テスト⑧
10回目	合同企業説明会の振り返り(クラス内発表) / 今後の就職活動について
11回目	夏季研修に向けて
12回目	チームマネジメント：スポーツフェスタに向けて① / 夏季休暇について
13回目	チームマネジメント：スポーツフェスタに向けて② / 夏季休暇の振り返り
14回目	試験(接客・漢字テスト)及び振り返り
15回目	前期の振り返り及び後期に向けて(※1名ずつ発表)
準備学習 時間外学習	・各自就職活動に向けて、企業研究や就職活動に向けて自主的に調べ、イベントに参加する。 ・各イベントや試験に向けて目標設定を行う。
評価方法	出席(課題を含む)、授業への参加・理解度・・・70% 期末試験(接客・漢字テストのまとめ)・・・30%
【使用教科書・教材・参考書】	
・10分間集中TRAINING「中学A級漢字」(教学研究所出版) ・新社会人の基礎力109(滋慶出版) ・オリジナルプリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅡ (Carrier planning-Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林田 新太郎
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日5時限

【授業の学習内容】

- ・担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えや一般教養やホスピタリティを身につける。
- ・各種イベントの成功を共同目標として取り組み、ホスピタリティをもって仲間と協力する。
- ・業界に求められる人材やスキルを理解し、意識して仲間と意見交換を行いながら、実践する。

※担当教員：中学校・高等学校社会科教員免許取得。13年間義務制学校勤務。

【到達目標】

- ・社会人になるために必要な一般教養や知識を身につけ、実践することができる。
- ・各種イベントや、試験に向けて他者と協力をして目的や目標を達成することができる。
- ・卒業に向けて、また卒業後のプランをイメージし、自己実現に向けて目標を立てて行動することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	後期及び卒業までの流れ、各自計画・目標立て
2回目	【個人・グループワーク】就職活動及び研修の振り返り、今後の計画立て / 社会人マナー・漢字テスト⑨
3回目	就職活動に向けて① / 社会人マナー・漢字テスト⑩
4回目	就職活動に向けて② / 社会人マナー・漢字テスト⑪
5回目	就職活動に向けて③ / 社会人マナー・漢字テスト⑫
6回目	就職活動に向けて④ / 社会人マナー・漢字テスト⑬
7回目	就職活動に向けて⑤ / 社会人マナー・漢字テスト⑭
8回目	We are ECO 卒業研究発表① / 社会人マナー・漢字テスト⑮
9回目	We are ECO 卒業研究発表② / 社会人マナー・漢字テスト⑯
10回目	We are ECO 卒業研究発表③ / 社会人マナー・漢字テスト⑰
11回目	We are ECO 卒業研究発表④ / 社会人マナー・漢字テスト⑱
12回目	今年1年の振り返り / 社会人マナー・漢字テスト⑲
13回目	今年の目標立て・卒業に向けて / 個人・グループワーク 自分自身を振り返る、これからの後輩に伝えたいこと/ 社会人マナー・漢字テスト⑳
14回目	試験及び振り返り
15回目	2年間の振り返り、これからの目標・決意表明(※1名ずつ発表)

準備学習 時間外学習

- ・各自就職活動に向けて、企業研究や就職活動に向けて自主的に調べ、イベントに参加する。
- ・各イベントや試験に向けて目標設定を行う。

評価方法

出席(課題を含む)、授業への参加・理解度・・・70%
期末試験(接客・漢字テストのまとめ)・・・30%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・10分間集中TRAINING「中学A級漢字」(教学研究所出版)
- ・新社会人の基礎力109(滋慶出版)
- ・オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ホスピタリティ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	せレーノコーポレーション
	(hospitality)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日4時限
【授業の学習内容】							
ホスピタリティ・マインドとは、「おもてなしの心」とも訳され、ビジネスに携わる上で不可欠なものです。相手に満足してもらうサービスを提供する為に、「相手の立場になって考え行動できる力」を身につけ実践出来るように講義形式・実践形式にて理解を深めます。 ※担当教員実務経験:専門学校にて、ビジネスマナー、ホスピタリティ、就職講座など幅広く担当している。							
【到達目標】							
①ホスピタリティの理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②学んだことを生かし、日常生活においてもホスピタリティ・マインドを持って行動することができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション : 講義の説明 ホスピタリティ動画を視聴し、サービスとホスピタリティの違いについて理解することができる
2回目	ホスピタリティを実践するための3つのステップを踏まえ基本マナーを身につける(挨拶・お辞儀)
3回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(服装・身だしなみの重要性)
4回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(言葉遣い・声の出し方)
5回目	電話対応の基本マナーとビジネス上の定番トークを覚え、信頼を得る電話対応ができる
6回目	電話対応 ロールプレイング
7回目	おもてなしにあたってのマナーについて理解し、現場で実践することができる
8回目	プロとしての雰囲気作りを習得することができる(コミュニケーションが始まる挨拶・笑顔)
9回目	適当な挨拶のデメリットとマナーにかなった挨拶のメリットについて理解を深めることができる
10回目	マインド(心構えや気持ち)、知識、行動など振り返り、再確認することができる。
11回目	リッツ・カールトンのホスピタリティについて調べ、感動を与えるサービスについて理解することができる
12回目	自分が体験した感動サービスについて取り上げ、感性を磨くことができる
13回目	評価試験対策
14回目	評価試験
15回目	前期講義の振り返り
準備学習 時間外学習	事前学習では、シラバスを読み講義概要を確認すること。 時間外学習では、ホスピタリティを身につけるために行動すること。相手に対してちょっとした気遣いの積み重ねです。まずは考え行動しましょう。
評価方法	・試験:80% ・平常点:20%
【使用教科書・教材・参考書】	
【使用参考書】 図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ホスピタリティ (hospitality)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	せレーノコーポレーション
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日4時限
【授業の学習内容】							
前期講義で習得したものをさらにワンランク上の知識やスキルを身につけ、ホスピタリティを拠り所としたよりきめ細かく幅広い実務と教養を学びます。 ※担当教員実務経験: 専門学校にて、ビジネスマナー、ホスピタリティ、就職講座など幅広く担当している。							
【到達目標】							
①前期講義で習得したもののから更にワンランク上の知識やスキルを身につけることができる。 ②実社会におけるホスピタリティ・マインドの重要性を認識し、社会人として通用する心構えを構築することができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション : 講義の説明 前期講義の振り返り
2回目	ホスピタリティを実践するための3つのステップを踏まえ「気くばり」について理解することができる
3回目	「気くばり」に必要な具体的な手法を知り、顧客満足度を上げることができる
4回目	ワンステップ上の挨拶の実践によりパーソナル・サービスに生かすことができる
5回目	気くばりのあるコミュニケーション(対応力、傾聴力、褒め上手)でお客様のご要望がわかる
6回目	リピーター、ロイヤルカスタマーを生む対応力について理解することができる
7回目	「心くばり」に必要な手法を知り、お客様や周囲の状況を把握し必要に応じたコミュニケーションを図ることができる
8回目	お客様とのやり取りの中で、ニーズの先読みをし、最適な準備や柔軟な対応をすることができる
9回目	お客様からの要望やクレームに対し、お客様の心理に寄り添ったコミュニケーションを図ることができる
10回目	お客様により良いサービスを提供するために組織のホスピタリティについて理解することができる
11回目	ホスピタリティを実践している企業を取り上げ、経営理念・ビジョンなどお客様や社会に提供している価値について理解することができる【グループワーク】
12回目	ホスピタリティを実践している企業を取り上げ、経営理念・ビジョンなどお客様や社会に提供している価値について理解することができる【発表】
13回目	評価試験対策
14回目	評価試験
15回目	前期講義の振り返り
準備学習 時間外学習	事前学習では、シラバスを読み講義概要を確認すること。 時間外学習では、講義を理解するために講義内容を見直しあいまいな点は質問できるように整理すること。 また、新たな気づきなどをノートにまとめておくこと。
評価方法	・試験: 80% ・平常点: 20%
【使用教科書・教材・参考書】	
【使用参考書】 図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	デジタルコンテンツ演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	セレーノコーポレーション
	(Digital Content Development Practice)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日2時限
【授業の学習内容】							
商用利用のSNSで使う動画を自分で編集し投稿する。 ※担当教員実務経験: 営業、Webディレクター。ブライダルサービス、PA、カフェなど様々な現場の運営の現場に従事。							
【到達目標】							
パソコン内データの取り扱い方が分かり、自分で撮影した動画を編集しSNSに投稿することができるようになる。 また、商業利用のSNSで注意する事や、ホームページの作成活用方法等もわかるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	オリエンテーション: 自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。 タイピング練習をしてキーボードに慣れる。
2回目	画像加工: remove bgを使い画像加工をし、自由に使えるようになる。
3回目	PowerPoint課題: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。画像挿入ができるようになる。
4回目	PowerPoint課題: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。文字入力装飾ができるようになる。
5回目	PowerPoint課題: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。アニメーション、画面切り替えができるようになる。仕上げ
6回目	PowerPoint課題: 2人チームで、おとぎ話のスライド作成。上映会を実施します。
7回目	動画編集: 環境整備、静止画を使った動画作成、アニメーションを使えるようになる。
8回目	動画編集: 動画を使った動画作成、カット、文字入れができるようになる。書き出しができるようになる。
9回目	動画課題①: 1分間の動画作成(テーマ: 各自で決めてもらいます。)
10回目	動画上映会: 各自作成した動画の上映会をします。なぜこのテーマにしたのか、こだわりポイントをみなさんに解説してもらいます。
11回目	SNS(インスタ)への投稿、商業利用時の注意点と著作権について、他SNSでのトラブル紹介
12回目	撮影練習: 撮影する上での注意点、テクニックを説明したのち、各自撮影体験をする。
13回目	動画課題②-1: 1分間の動画作成(テーマ: 動物紹介) 今まで使った技を使い自由に動画作成
14回目	動画課題②-2: 1分間の動画作成(テーマ: 動物紹介) 今まで使った技を使い自由に動画作成
15回目	動画上映会: 各自作成した動画の上映会をしSNSに投稿
準備学習 時間外学習	身近にある物にコレはどの様になっているのか興味を持ち、 そして自分だったらこんな風に作るのになと、考える事をして欲しい。
評価方法	授業内での傾聴力・発言力20% ・期末試験(作品評価) 80%
【使用教科書・教材・参考書】	
データ配布	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	アニマルトレーニング (Animals Training)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	間 美加
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日3時限
【授業の学習内容】 犬の心理を理解し、犬が人間に求めているものを提供できる人材になる。 犬に対して自分の影響力を知り、犬に適した身の振り方(接し方)を考えられるようになる。 座学形式での講義(必要に応じて犬を使用した実技) ※担当教員実務経験: 犬種の特性を活かしたスポーツドッグの育成・トレーニングに従事。 日本フリスビードッグ協会主催のフリスビードッグ日本一を決める大会「ジャパンファイナル」で多くの優勝・入賞経験を持つ。							
【到達目標】 犬の行動心理や学習の原理原則を学び実生活と結びつけて考える。 また犬にトレーニングを提供できる人間に成長することを目的とする。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	これからの授業で意識すること。飼い主に必要とする知識とは。(予防医学)
2回目	犬社会のルールから見る犬との初対面の接し方。プロと飼い主の違いを知る。(実技)
3回目	なぜトレーニングが必要なのか？
4回目	なぜトレーニングが必要なのか？
5回目	なぜトレーニングを科学的に考えるのか？
6回目	犬を育てる為に、トレーナーが身につけること。
7回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
8回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
9回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
10回目	犬の誉め方。誉める時に必要な感情の伝え方。
11回目	歩行トレーニングの続き (実技)
12回目	歩行トレーニングの続き (実技)
13回目	犬の心を安定させる方法を知る。
14回目	歩行トレーニングの続き (実技)
15回目	前期まとめ【テスト対策】
準備学習 時間外学習	配布プリントの予習復習、レポート作成。
評価方法	中間評価: 40点 期末評価: 40点 提出物: 10点 授業態度: 10点
【使用教科書・教材・参考書】 プリント配布	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	食餌と栄養 (Dietetics for Animals)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	本村 伸子
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	月曜日4時限
【授業の学習内容】 ・市販のペットフードについて学び、犬と猫たちにとって食事が大切だという事を学ぶ。 ・犬と猫の体の構造とそれに伴う栄養素の違いを理解する。 ・授業内で犬の手作り食を実際に作り、食事の構成の方法を学ぶ。 ※担当教員実務経験：獣医師。ナチュラルケア・アドバイザーとして犬の病気の予防や食事に関するセミナーを開催。							
【到達目標】 ・様々な市販ペットフードの中身を精査して、飼い主さんに適切な食事の指導ができる。 ・犬と猫の体調やライフステージに合わせた食事を検討して、提案できる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	授業の進め方
2回目	ペットフードの見方①:脂肪の酸化と酸化防止剤
3回目	ペットフードの見方②:添加物と注意する成分
4回目	ペットフードの見方③:注する原材料
5回目	ペットフードの見方④:保障分析値の見方を理解する
6回目	ペットフードの見方⑤:グレインフリーとは/拡張型心筋症の問題
7回目	ペットフードの見方⑥:ペットフードの選び方のまとめ
8回目	高齢期の健康管理:高齢期に見られる様々な体の変化を理解する
9回目	高齢期の食事管理:高齢期の動物に必要な食事の問題点を理解する
10回目	体の構造と栄養素:肉食動物と草食動物の体の違いを理解する
11回目	体の構造と栄養素:猫と犬の栄養素の違いを理解する
12回目	猫の生態:猫に多い尿系疾患の原因を猫の生態を通じて理解する
13回目	猫の食事管理:猫の体を考えた食事の給仕方法を理解する
14回目	レポート提出/手作り食のまとめ
15回目	まとめと質疑応答
準備学習 時間外学習	予習:飼育している犬や猫が食べているペットフードの中身について調査する。 飼っていない場合はペットショップなどを足を運び自身で色々なフードの中身について調べる。 復習:授業で学んだ様々な添加物について調べ、レポートに内容をまとめること。 読むと良い書籍「もう迷わないペットの健康ごはん」、「愛犬を病気肥満から守る健康ごはん」 定期的に開催される「Eat & Heartセミナー」の受講
評価方法	授業中に毎回作る手作り食の写真と内容について説明文を記載したレポートの提出で100%評価
【使用教科書・教材・参考書】 参考図書:「もう迷わないペットの健康ごはん」、「シッポの『願い』」	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ブリーディング (Breeding)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	寺田 光徳
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日3時限
【授業の学習内容】 「その犬がどうあるべきか」ということを定めた犬種標準をよく把握し、発情から交配や出産、育仔について、食餌や健康管理、予防接種、駆虫、繁殖に関する病気などの医学的知識、遺伝学的な事を学ぶ。 ※担当教員実務経験:JKC福岡県クラブ連合会会長、JKC九州ブロックハンドラー委員会常任委員を務め、ドッグショーの審査、及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、 【到達目標】 犬種標準・交配の良否・牡・牝犬の生殖生理の基礎知識を学び、ブリーディングの知識を身に付ける。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	繁殖とは
2回目	繁殖と目的について
3回目	繁殖の分類について学ぶ
4回目	血統書について
5回目	血統書 繁殖生理(生殖器官の構造)
6回目	生殖器官の構造 雄犬の繁殖生理
7回目	雌犬の繁殖生理について
8回目	雌犬の選び方
9回目	交配について
10回目	妊娠について
11回目	出産について
12回目	出産について
13回目	育仔と仔犬の成長 新生仔の育て方について
14回目	評価試験および振り返り
15回目	遺伝と育種について
準備学習 時間外学習	繁殖学 プリント配布
評価方法	筆記試験(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 配布されたプリントの次の授業の予習を行っておく。	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物の健康管理Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	井上 奈津
	(Animals Health ManagementⅡ)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日5時限
【授業の学習内容】 動物を観察する(健康チェックを行う)ときの具体的な方法と判断基準(正常(健康)と異常(病気)の違い)、病気にさせないための手段(予防)についての学習を受け、ペットリマーだからできる動物の健康管理について学習する。 ※担当教員実務経験:愛玩動物看護師。福岡県内の動物病院にて通算6年勤務後、動物専門臨床検査センターにて通算4年勤務。ドッグマッサージ事業を展開している。日本アニマルマッサージ協会会員。							
【到達目標】 動物の病気・ケガや異常についての基本的な知識や処置の方法を身に付け、ペットリマーとして動物・飼い主に寄り添った提案・アドバイスができるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	授業オリエンテーション/犬の健康保持における予防
2回目	身体アセスメント
3回目	各器官系の評価および特徴的疾患①(皮膚・被毛)
4回目	各器官系の評価および特徴的疾患②(耳・眼・口腔)
5回目	各器官系の評価および特徴的疾患③(呼吸器・循環器・消化器)
6回目	各器官系の評価および特徴的疾患④(泌尿器・生殖器・筋骨格・神経)
7回目	中間評価試験、振り返り
8回目	中間評価試験の返却及び解説/身体アセスメントの実践
9回目	動物病院にて実施される健康診断/衛生管理
10回目	保定および駆血
11回目	幼齢動物および高齢動物の健康管理
12回目	適切な飼養のための環境整備/食事による健康管理
13回目	総復習
14回目	期末評価試験、振り返り
15回目	期末試験評価の返却及び解説/歯みがき実習
準備学習 時間外学習	動物の健康管理Ⅰ(1年次)からペットリマーとしてできる犬の健康管理を比較し、まとめること。
評価方法	●中間評価試験50%●期末評価試験50%
【使用教科書・教材・参考書】 参考書 緑書房 愛玩動物看護師の教科書 エデュワードプレス 動物看護実習テキスト ファームプレス 動物看護コアテキスト	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ショップマネジメントⅠ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	布村 道子
	(Shop management-Ⅰ)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日・2時限
【授業の学習内容】							
ショップやサロンを開き、安定して経営していくために必要な知識を学ぶ。開業前の準備段階に必要な分野(マーケティング・ブランディング)など。また、最新の経済・ビジネスの動向解説を入れてビジネスの関心を高めるとともに、起業家・経営者として必要なマインドセットを行う。 ※担当教員実務経験:公務員として勤務後、株式会社を設立。スクール事業などを展開。経営コンサルティング(平成25年から)							
【到達目標】							
①店舗経営に必要な知識を身につけるとともに、将来の開業を見据えて自発的に世の中の動きを見られるようになる。 ②売上、経費、利益の概念を身につけ、自分で計算できるようになる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己紹介・授業ガイダンス・2024年上半期のビジネス動向解説
2回目	アントレプレナーシップと事業アイデア・ビジネスモデルの作り方
3回目	お店とは経営とは・業種と業態について違いを理解する
4回目	《経営の数字①》売上とは・売上を構成する要素
5回目	《経営の数字②》経費とは・利益とは(5つの利益)
6回目	《経営の数字③》仕入れと在庫
7回目	《経営の数字④》利益の出し方(ロスの発見)
8回目	《ブランディング》価格競争に依らない戦略について学ぶ ※小テスト実施
9回目	《価格の決め方》価格の役割
10回目	《経営の数字⑤》分配率コントロール
11回目	《経営の数字⑥》人員管理・人件費
12回目	《起業セミナー》開業の手順、資金調達の方法
13回目	《演習》創業計画書を書いてみる、これまでの振り返り
14回目	評価試験及び振り返り
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	新聞、ニュース、インターネットなどから、現在ビジネスで伸びている会社やサービスについて情報収集をすることが望まれる。
評価方法	・小テスト:10% ・筆記試験:70% ・平常点:10% ・出席点:10%
【使用教科書・教材・参考書】	
自作プリント、商品構成 渥美俊一著、儲かる飲食店の数字 河野祐治著、《動画》東京ビジネスオンデマンド	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ショップマネジメントⅠ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	布村 道子
	(Shop management-Ⅰ)	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日・2時限
【授業の学習内容】							
ショップやサロンを開き、安定して経営していくために必要な知識を学ぶ。開業前の準備段階で必要な分野(マーケティング・ブランディング)など。また、最新の経済・ビジネスの動向解説を入れてビジネスの関心を高めるとともに、起業家・経営者として必要なマインドセットを行う。 ※担当教員実務経験:公務員として勤務後、株式会社を設立。スクール事業などを展開。経営コンサルティング(平成25年から)							
【到達目標】							
①店舗経営に必要な知識を身につけるとともに、将来の開業を見据えて自発的に世の中の動きを見られるようになる。 ②売上、経費、利益の概念を身につけ、自分で計算できるようにする							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己紹介・授業ガイダンス・2024年下半年のビジネス動向解説
2回目	前期の復習と応用(損益分岐点売上高)、価格設定戦略:価格の種類
3回目	価格設定戦略:TPOSと価格
4回目	《広告宣伝》広告とは・媒体の種類・販促策の考え方
5回目	《マーケティング》webマーケティングの基礎知識
6回目	《マーケティング②》ライティング・キャッチコピー
7回目	開業時に必要な数字(分配率、ROI、利回りの考え方)
8回目	労務管理 ※小テスト実施
9回目	ビジネス契約書(さまざまな書類とその作成の仕方)
10回目	《演習》請求書、領収書の作成、売買に関わる税金について
11回目	物件の探し方・店舗デザイン
12回目	会社の種類、株式会社とは個人事業主とは
13回目	《演習》創業計画書のブラッシュアップ、これまでの振り返り
14回目	評価試験及び振り返り
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	新聞、ニュース、インターネットなどから、現在ビジネスで伸びている会社やサービスについて情報収集をすることが望まれる。
評価方法	・小テスト:10% ・筆記試験:70% ・平常点:10% ・出席点:10%
【使用教科書・教材・参考書】	
自作プリント、商品構成 渥美俊一著、儲かる飲食店の数字 河野祐治著、《動画》東京ビジネスオンデマンド	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	トリミング理論Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	酒井 志保
	(Theory of Grooming-Ⅱ)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日1時限
【授業の学習内容】 グルーミング(トリミング)を実技するに当たって必要な基礎知識を学ぶ。 ドッグショー見学日程、海外研修日程、補講日程により1回目～15回目内容の前後あり。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得。 2023年よりビションフリーゼのブリーディング継続創設。サロンmarshmallomanの代表。 ジャパンケネルクラブ公認審査員。							
【到達目標】 トリミング演習で必要なグルーミングの基礎知識を理解し実技に活かせるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	スタンダードとトリミング 環境とトリミング
2回目	ショートトリミング・ペットトリミング
3回目	プードル スタンダード改
4回目	プードル トリミング ショークリップ①
5回目	プードル トリミング ショークリップ②
6回目	ビションフリーゼ トリミング
7回目	ペドリントンテリア ケリーブルーテリア トリミング
8回目	ブラッキングの必要性 トリミング
9回目	長脚テリア・短脚テリアのトリミング
10回目	スパニエル犬種のトリミング
11回目	犬種別トリミング 短毛
12回目	犬種別トリミング 長毛
13回目	ブラッシングについて
14回目	シャンプーイングについて
15回目	グルーミング検定宅策 ノート提出
準備学習 時間外学習	苦手箇所の予習復習をして克服してください
評価方法	授業内評価・ノート提出:100%
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶グルーミングテキスト JKCドッググルーミングマニュアル JKCスタンダード図鑑	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	園川枝穂
	(Practice of GroomingⅡ)	授業形態	演習	総時間 (単位)	270 (18)	開講区分	前期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日2～5時限 木曜日1～5時限
【授業の学習内容】 1年生の授業を振り返りながら基礎をしっかり頭に入れて丁寧なトリミングができるようになる。 自分の苦手な場所を見つけ克服する。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンスA級。 動物病院・ペットサロンでトリマーとして勤務							
【到達目標】 各パートのトリミングを確実に出来るようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	1年生の振り返り 前期の目標立て マネキン説明
2回目	テディベアカット顔 講習
3回目	ブローバリカンの徹底
4回目	バリカンの際のトリミング徹底
5回目	ウエストの位置 型の徹底
6回目	アンダーラインの徹底
7回目	お尻からアングレーションの徹底
8回目	後肢の形
9回目	肩 胸の徹底
10回目	前肢の徹底(円柱について)
11回目	前胸の形
12回目	頭部の徹底(ラム、テディ、シーズー、マルチーズ、ポメラニアン、シュナ)
13回目	トップラインの徹底
14回目	前期試験 2時間 1人1頭 (ラムクリップ、テディベアカット)
15回目	復習 後期の目標立て
準備学習 時間外学習	苦手箇所の克服の為、1年生授業へ参加。
評価方法	授業内評価 50点 ノート レポート提出物 50点
【使用教科書・教材・参考書】 モデル犬 自分のトリミング保存写真 レポート プリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	園川枝穂
	(Practice of GroomingⅡ)	授業形態	演習	総時間 (単位)	270 (18)	開講区分	後期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日2～5時限 木曜日1～5時限
【授業の学習内容】 1年生の授業を振り返りながら基礎をしっかりと頭に入れて丁寧なトリミングができるようになる。 自分の苦手な場所を見つけ克服する。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンスA級。 動物病院・ペットサロンでトリマーとして勤務							
【到達目標】 COMグループグルーミング検定A級合格。 JKCTリマーライセンスC級合格。 バリエーションのあるティペアカットができるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
2回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
3回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
4回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
5回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン25分
6回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
7回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
8回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
9回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
10回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン20分
11回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
12回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
13回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
14回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
15回目	トリミング犬種 仕上げ120分 ラムクリップバリカン15分
準備学習 時間外学習	苦手な場所のトリミングを復習できるようにする。
評価方法	授業内評価 50点 ノート レポート提出物 50点
【使用教科書・教材・参考書】 モデル犬 自分のトリミング保存写真 レポート プリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	進級課題 (Level Advancement Study)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林田 新太郎
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が進級に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。							
※担当教員：中学校・高等学校社会科教員免許取得。13年間義務制学校勤務。							
【到達目標】							
学習成果(知識・技術)をパワーポイントやポスター展示、実技披露として発表。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	進級課題とは① ～進級課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	進級課題とは② ～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	進級課題の進め方 ～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定 ～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習① ～自分(班)のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習② ～途中経過の報告～
7回目	実践学習③ ～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備① ～パワーポイント作成～
9回目	発表準備② ～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③ ～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④ ～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤ ～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	進級課題の振り返り ～各自(班内)で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自(各班)で意見交換を随時行う。 また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容:80% ・課題への参加度:20%
【使用教科書・教材・参考書】	
専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communication)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

知人・家族について話することができる。職場でのフォーマルなメールを読む、また書くことができる。毎日していることについて話することができる。ポッドキャストについての意見を読む、また書くことができる。今していることについて話することができる。サービス業界の会社へのメッセージを読む、また書くことができる。招待する、またそれに応えることができる。イベントへの招待を読む、また書くことができる。人生の中での過去のイベントについて話することができる。新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書くことができる。店内で欲しいものについて述べる。新しい商品の説明を読む、またVlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書くことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容			
1回目	所有代名詞(whose)を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	自己紹介をする。職場でのフォーマルなメールを読む、書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	習慣・ルーティンについて質問する。[Wh-question]を練習する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	繰り返しを求める表現を学ぶ。意思疎通に問題があったことを説明する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	「現在進行形」「単純現在形」を練習する。スポーツ、運動について話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。中間試験。
8回目	将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ。将来のプランについて話す	オンデマンド	中間試験解説、前期後半に向けて
9回目	招待する、招待に応える表現を学ぶ。招待を断る理由を説明する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「プレゼントを選ぶについて」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	「過去形」(陳述文の否定形;疑問文)を復習する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	[be going to]を復習する買い物に行くことについて会話する	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	店内で欲しいものについて述べる。物事の言い方を英語で聞く	オンデマンド	対面授業と連動、振り返り。
15回目	前期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。		
評価方法	小テストの正解率にて評価 (前期小テスト合計30回の正解率＝100%で計算)		
【使用教科書・教材・参考書】			
EVOLVE2			

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	グローバルコミュニケーション (Global Communication)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	ILC国際語学センター
		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	未定

【授業の学習内容】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

※担当教員：英語教授に関する資格を持ち、かつ英語教授経験が2年以上。主に専門学校で基礎英語の授業を担当。

【到達目標】

レストランで頼みたいものについて説明することができる。ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書くことができる。提案をする、また提案をうけることができる。海外生活についてのアドバイスを読む、また書くことができる。意見を尋ねる、また述べるができる。広告を読む、また写真の説明を書くことができる。将来の予想を立てることができる。アドバイスについてのメールを読む、また書くことができる。したことがあること、ないことについて話すことができる。インフォグラフィックを読む、セルフイーについての短いコメントを書くことができる。天気について話すことができる。場所についての説明を読むことができる。方法についての説明リストを書くことができる。

授 業 計 画 ・ 内 容			
1回目	キッチンカーをデザインする「動詞型」を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
2回目	ファストフード店についての記事を読む、また記事に対する反応を書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
3回目	[if / when]の使い方を学ぶ。自分の町で何をするかについて話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
4回目	「問い返し疑問文」を学ぶ。提案をする、また提案をうける表現を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
5回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「短期旅行のプランを立てる」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
6回目	「形容詞の最高級」を学ぶ。写真に写った人について話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
7回目	広告を読む、また写真の説明を書く	オンデマンド	振り返り。中間試験
8回目	[have to]の使い方を学ぶ。職場での危険を回避することについて話す	オンデマンド	中間試験解説、後期後半に向けて
9回目	[It feels like (it's like)]を使い、健康問題について話す;健康問題についてアドレスをもらう	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
10回目	スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「リアリティ番組を計画し、発表する」	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
11回目	ソーシャルメディア(ネット)生まれの動詞を学ぶ	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
12回目	インフォグラフィックを読む、セルフイーについての短いコメントを書く	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
13回目	[be like]を使い、天気について話す	オンデマンド	小テスト(対面授業と連動)
14回目	道を聞く、道順を教える際に使う表現を学ぶ。言い改める際に使う表現を学ぶ、復習する	オンデマンド	振り返り
15回目	後期発表。	オンデマンド	期末試験。期末試験解説、後期に向けて
準備学習 時間外学習	授業内容の予習と復習を行うこと。		
評価方法	小テストの正解率にて評価 (後期小テスト合計30回の正解率＝100%で計算)		
【使用教科書・教材・参考書】			
EVOLVE2			

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	業界研修	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
	(Business Internship)	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験: 研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
- ・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
- ・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
- ・自らの「キャリア」をデザインできる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出(80%) ・インターンシップ先企業からの評価表(20%) これらを総合的に判断して評価
【使用教科書・教材・参考書】	
キャリアセンターの参考情報	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別講義&見学 (Special Lecture)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。 学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。 ※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】 ・動物業界に必要な知識や技術を理解し、身に付ける。 ・動物業界に必要な人間力を理解し、身に付ける。 ・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。 ・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 キャリアセンターの参考情報	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	イベント運営 (Event Management)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各イベント実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・企画立案、運営ができるようになる。
- ・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
- ・接客を知り、実践できるようになる。
- ・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
- ・予算管理を実践し習得する。
- ・スケジュールリングを理解し、実践できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備(50%) ・レポート(50%)
【使用教科書・教材・参考書】	
過去のイベント資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別課外活動 (Club Activities)	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	各クラブ顧問
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 学生会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。 ※担当教員：各クラブ担当顧問より指導頂く。							
【到達目標】 ・チームワークを身に付ける。 ・計画性を身に付ける。 ・予算管理を身に付ける。 ・マネジメントを理解し身に付ける。							

授業計画・内容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 ・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ボランティア活動	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
	(Volunteer Work)	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。 ※担当教員:各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。							
【到達目標】							
・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。 ・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート(100%)
【使用教科書・教材・参考書】	
過去のボランティア活動報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 各専攻・各学年で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。 ※担当教員：各施設・資格取得における実務従事者及び指導者より指導頂く。							
【到達目標】 ・各検定試験、資格試験の合格							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 過去の各検定、資格教本	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅢ (Carrier planning-Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	林田 新太郎
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日2時限
【授業の学習内容】							
・担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えや一般教養やホスピタリティを身につける。 ・各種イベントの成功を共同目標として取り組み、ホスピタリティをもって仲間と協力する。 ・業界に求められる人材やスキルを理解し、意識して仲間と意見交換を行いながら、実践する。							
※担当教員：中学校・高等学校社会科教員免許取得。13年間義務制学校勤務。							
【到達目標】							
・社会人になるために必要な一般教養や知識を身につけ、実践することができる。 ・各種イベントや、試験に向けて他者と協力をして目的や目標を達成することができる。 ・卒業に向けて、また卒業後のプランをイメージし、自己実現に向けて目標を立てて行動することができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	ガイダンス、前期及び1年間の流れ確認、授業の進め方、クラス組織作り
2回目	セルフマネジメント：前期の各自目標発表 / チームマネジメント：クラスの取り組み・目標決め・学園祭に向けて① / 社会人マナー・漢字テスト①
3回目	キャリアデザイン：GWの過ごし方、業界研修の目的や注意点の再確認 / チームマネジメント：学園祭に向けて② / 社会人マナー・漢字テスト②
4回目	就職活動に向けて② / チームマネジメント：学園祭に向けて③ / 社会人マナー・漢字テスト③
5回目	チームマネジメント：学園祭に向けて④ / 社会人マナー・漢字テスト④
6回目	キャリアデザイン：合同企業説明会に向けて① / 社会人マナー・漢字テスト⑤
7回目	キャリアデザイン：合同企業説明会に向けて② / 社会人マナー・漢字テスト⑥
8回目	チームマネジメント：学園祭に向けて⑤ / 社会人マナー・漢字テスト⑦
9回目	学園祭及び合同説明会の振り返り(グループワーク) / 社会人マナー・漢字テスト⑧
10回目	合同企業説明会の振り返り(クラス内発表) / 今後の就職活動について
11回目	夏季研修に向けて
12回目	チームマネジメント：スポーツフェスタに向けて① / 夏季休暇について
13回目	チームマネジメント：スポーツフェスタに向けて② / 夏季休暇の振り返り
14回目	試験(接客・漢字テスト)及び振り返り
15回目	前期の振り返り及び後期に向けて(※1名ずつ発表)
準備学習 時間外学習	・各自就職活動に向けて、企業研究や就職活動に向けて自主的に調べ、イベントに参加する。 ・各イベントや試験に向けて目標設定を行う。
評価方法	出席(課題を含む)、授業への参加・理解度・・・70% 期末試験(接客・漢字テストのまとめ)・・・30%
【使用教科書・教材・参考書】	
・10分間集中TRAINING「中学A級漢字」(教学研究所出版) ・新社会人の基礎力109(滋慶出版) ・オリジナルプリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	キャリアプランニングⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林田 新太郎
	(Carrier planning-Ⅱ)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日2時限

【授業の学習内容】

- ・担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えや一般教養やホスピタリティを身につける。
- ・各種イベントの成功を共同目標として取り組み、ホスピタリティをもって仲間と協力する。
- ・業界に求められる人材やスキルを理解し、意識して仲間と意見交換を行いながら、実践する。

※担当教員：中学校・高等学校社会科教員免許取得。13年間義務制学校勤務。

【到達目標】

- ・社会人になるために必要な一般教養や知識を身につけ、実践することができる。
- ・各種イベントや、試験に向けて他者と協力をして目的や目標を達成することができる。
- ・卒業に向けて、また卒業後のプランをイメージし、自己実現に向けて目標を立てて行動することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	後期及び卒業までの流れ、各自計画・目標立て
2回目	【個人・グループワーク】就職活動及び研修の振り返り、今後の計画立て / 社会人マナー・漢字テスト⑨
3回目	就職活動に向けて① / 社会人マナー・漢字テスト⑩
4回目	就職活動に向けて② / 社会人マナー・漢字テスト⑪
5回目	就職活動に向けて③ / 社会人マナー・漢字テスト⑫
6回目	就職活動に向けて④ / 社会人マナー・漢字テスト⑬
7回目	就職活動に向けて⑤ / 社会人マナー・漢字テスト⑭
8回目	We are ECO 卒業研究発表① / 社会人マナー・漢字テスト⑮
9回目	We are ECO 卒業研究発表② / 社会人マナー・漢字テスト⑯
10回目	We are ECO 卒業研究発表③ / 社会人マナー・漢字テスト⑰
11回目	We are ECO 卒業研究発表④ / 社会人マナー・漢字テスト⑱
12回目	We are ECO 卒業研究発表⑤ / 社会人マナー・漢字テスト⑲
13回目	We are ECO 卒業研究発表⑥ / 社会人マナー・漢字テスト⑳
14回目	卒業後について、社会人として 卒業式について
15回目	3年間の振り返り、社会人として・卒業式について
準備学習 時間外学習	・各自就職活動に向けて、企業研究や就職活動に向けて自主的に調べ、イベントに参加する。 ・各イベントや試験に向けて目標設定を行う。
評価方法	出席(課題を含む)、授業への参加・理解度・・・70% 期末試験(接客・漢字テストのまとめ)・・・30%

【使用教科書・教材・参考書】

- ・10分間集中TRAINING「中学A級漢字」(教学研究所出版)
- ・新社会人の基礎力109(滋慶出版)
- ・オリジナルプリント

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習①	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	牟田杏奈
	Practice of Dog training	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 リマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日3時限
【授業の学習内容】 犬の訓練士として、犬が人間社会で暮らしていく為のしつけを理解し、適切な指示の出し方を学ぶことが必要。この授業ではJKCの訓練科目から正しい姿勢・リードの扱い方、人や犬の動きの基本を学び、学内飼育犬と共に実践する。							
※担当教員実務経験：							
【到達目標】 JKCの訓練科目を理解すると共に、犬を足元つけて指示を与え、その状態を維持した歩行や基本の指示出しができるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	JKC 家庭犬訓練試験初等科、実施要項説明
2回目	アイコンタクト、トリーツの使い方、トリーツの意義
3回目	「待て」指導手はどういう意識を持って犬に教えるべきか
4回目	「伏臥」誘導の仕方、姿勢のキープ
5回目	「伏臥からの停座」立止りからの停座、伏臥からの停座は異なることを指導手が意識して教える
6回目	アイコンタクトを停座、伏臥、待ての課目と組み立てる
7回目	JKC家庭犬訓練試験初等科 筆記テスト
8回目	「立止」犬のフォーム 姿勢のキープ
9回目	「招呼」基本は脚側停座、招呼はゴールである脚側停座の徹底である
10回目	「脚側行進」出発、停止時の脚側停座の位置を意識する
11回目	脚側行進、停座、伏臥、右回り、左回り、停座招呼、脚側停座、アイコンタクト
12回目	脚側行進、停座、伏臥、右回り、左回り、停座招呼、脚側停座、アイコンタクト
13回目	後期学習事項反復練習
14回目	後期評価および振り返り
15回目	1年間 総復習
準備学習 時間外学習	学習準備として、授業で使用する「犬種」の特徴や習性等を調べておくこと。また、授業前には、前回の授業の振り返りを行いますので、学んだことを整理してノートにまとめておいてください。
評価方法	筆記試験/実技試験 中間評価(筆記):40% 期末評価(実技):60%
【使用教科書・教材・参考書】 参考図書:JKC犬種標準書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習①	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	牟田杏奈
	Practice of Dog training	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 リマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	水曜日3時限
【授業の学習内容】 犬の訓練士として、犬が人間社会で暮らしていく為のしつけを理解し、適切な指示の出し方を学ぶことが必要。この授業ではJKCの訓練科目から正しい姿勢・リードの扱い方、人や犬の動きの基本を学び、学内飼育犬と共に実践する。							
※担当教員実務経験：							
【到達目標】 JKCの訓練科目を理解すると共に、犬を足元つけて指示を与え、その状態を維持した歩行や基本の指示出しができるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	ハウス、ゲージ、サークルの設置、犬の出し入れ、リードの付け方
2回目	犬の出し入れ、基本姿勢(正しいヒールポジション)、リードの持ち方
3回目	「停座」指示の出し方、リードの使い方、停座の正しいフォームへの導き方
4回目	指示の重要性、褒めるタイミングと褒め方、犬にとっての褒美とは
5回目	「脚側停座」正しい位置と導き方及び指示、訓練用語
6回目	「脚側停座」指示(リード使い、体の動き、犬の動線)「脚側行進」指導手の歩き方
7回目	訓練用語テスト
8回目	脚側行進、まわれ右、脚側停座、(リード使い、指導手の指示の安定)
9回目	脚側行進、まわれ右、左回り、脚側停座(リード使い、指導手の指示の安定)
10回目	同上 反復練習
11回目	同上 反復練習
12回目	同上 反復練習
13回目	前期実技試験前練習(実技実施要項説明及び練習)
14回目	前期評価および振り返り(リード使い、声符、体符、基本姿勢、右回り、左回り、脚側行進、脚側停座)
15回目	前期復習
準備学習 時間外学習	学習準備として、授業で使用する「犬種」の特徴や習性等を調べておくこと。また、授業前には、前回の授業の振り返りを行いますので、学んだことを整理してノートにまとめておいてください。
評価方法	筆記試験/実技試験 中間評価(筆記):40% 期末評価(実技):60%
【使用教科書・教材・参考書】 JKC犬種標準書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習②	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	金川英樹
	Practice of Dog training	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 リマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3時限

【授業の学習内容】

ドッグトレーナー(インストラクター)として飼い主からの信頼を得るためには、トレーニングに関わる試験への取り組みやセミナー等への参加による広い視野を持つことが重要である。
この授業では実際に行われているJAHA(日本動物病院協会)の検定試験の項目に沿ったトレ、学内飼育犬と共に実践する。
また、要所において振り返りや意見交換を行い、自分自身の課題を見つけるきっかけとする。

※担当教員実務経験:犬のしつけ教室・幼稚園を運営する、JAHA認定の家庭犬しつけインストラクター。

【到達目標】

一般の愛犬家からのニーズが高まっている犬に優しい正の強化を応用したトレーニングを実践できるようになる。
トレーニングの実践だけでなく、犬の学習におけるプロセスを理解した上で行えるようになる。
マナーチャレンジテストの項目を理解し、自身の課題を発見・改善する事で合格相当の力を身に付ける。
犬の学習のプロセスへの理解を深め、1年で培ってきた知識と技術(ハンドリングやトレーニングスキル、クリックートレーニングなど)を使って、犬に優しいハンドリングで犬が楽しむことを大前提にそれぞれの個体に合った接し方で実践できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	①オリエンテーション(授業内容の説明等) 犬のしつけとその必要性
2回目	②犬の行動と習性 報酬について ●実技:リードの扱い方・フードの使い方(デリバリー)
3回目	③寝める 犬具について ●実技:寝める(報酬)タイミング リードの扱い方・フードの使い方 実践 基礎(ホームポジション)
4回目	④犬について(起源) ●実技:リードの扱い方(リードをたるませる、引っ張り、巻き取る)・フードの使い方 実践 応用
5回目	⑤犬について(犬種1) ●実技:犬の観察 (止まる・動く・仕草) フードの使い方 リードの管理 リードを使った抱っこ
6回目	⑥犬について(犬種2) ●実技:犬の観察 ハンドターゲット1(行動を作る 犬を観察しながら動きをつくる)
7回目	⑦筆記テスト ●実技:ハンドリング チェックテスト(リードの扱い・フードの扱い)
8回目	⑧犬の行動学1 犬との生活 領域 攻撃性 ●実技:ハンドターゲット2 (手についてくる マグネット、観察しながらコントロール)
9回目	⑨犬の行動学2 犬との生活 空間作り ルールづくり 信頼関係 ●実技:ハンドターゲット3 ターゲティング 基礎
10回目	⑩犬の行動学3 犬のサイン(犬の言葉)を知る I 基礎 ●実技:ハンドターゲット4 ターゲティング 応用1
11回目	⑪犬の行動学4 犬のサインを知る II ストレスサイン 動画 ●実技:ハンドターゲット5 誘導 お座り
12回目	⑫生活のニーズ1 ●実技:ハンドターゲット6 誘導 お座り ステップアップ
13回目	⑬生活のニーズ2 ●実技:ハンドターゲット7 誘導 伏せ
14回目	⑭生活のニーズ3 ●実技:実技テスト
15回目	1年間 総復習
準備学習 時間外学習	学習準備として、授業で使用する「犬種」の特徴や習性等を調べておくこと。また、授業前には、前回の授業の振り返りを行いますので、学んだことを整理してノートにまとめておいてください。
評価方法	筆記試験/実技試験 中間評価(筆記):40% 期末評価(実技):60%
【使用教科書・教材・参考書】 参考図書:JKC犬種標準書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習②	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	金川英樹
	Practice of Dog training	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 リマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日3時限

【授業の学習内容】

ドッグトレーナー(インストラクター)として飼い主からの信頼を得るためには、トレーニングに関わる試験への取り組みやセミナー等への参加による広い視野を持つことが重要である。
この授業では実際に行われているJAHA(日本動物病院協会)の検定試験の項目に沿ったトレ、学内飼育犬と共に実践する。
また、要所において振り返りや意見交換を行い、自分自身の課題を見つけるきっかけとする。

※担当教員実務経験:犬のしつけ教室・幼稚園を運営する、JAHA認定の家庭犬しつけインストラクター。

【到達目標】

一般の愛犬家からのニーズが高まっている犬に優しい正の強化を応用したトレーニングを実践できるようになる。
トレーニングの実践だけでなく、犬の学習におけるプロセスを理解した上で行えるようになる。
マナーチャレンジテストの項目を理解し、自身の課題を発見・改善する事で合格相当の力を身に付ける。
犬の学習のプロセスへの理解を深め、1年で培ってきた知識と技術(ハンドリングやトレーニングスキル、クリックートレーニングなど)を使って、犬に優しいハンドリングで犬が楽しむことを大前提にそれぞれの個体に合った接し方で実践できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	①クリックートレーニング ●実技:クリックートレーニング 導入編
2回目	②クリックートレーニング ●実技:クリックートレーニング 基礎
3回目	③生活のニーズ(健康管理・マナー) ●実技:クリックートレーニング
4回目	④お散歩 飼い主のマナー ●実技:お散歩に必要なトレーニング アテンション
5回目	⑤お散歩の準備 ●実技:お散歩に必要なトレーニング 学校内で実践
6回目	⑥学習理論1 ●実技:伏せ 復習 ステップアップ
7回目	⑦学習理論2 ●実技:呼び戻し お手入れ
8回目	⑧学習理論3 ●実技:呼び戻し お手入れ
9回目	⑨学習理論4 ●実技:リードをたるませて歩く お手入れ
10回目	⑩学習理論5 ●実技:リードをたるませて歩く お手入れ
11回目	⑪トレーニング学1 ●実技:ヒールポジション お手入れ
12回目	⑫トレーニング学2 ●実技:ヒールポジション お手入れ
13回目	⑬トレーニング学3 ●実技:ヒールポジション お手入れ
14回目	⑭筆記テスト ●実技:マナー
15回目	⑮総まとめ ●実技:クリックートレーニング
準備学習 時間外学習	学習準備として、授業で使用する「犬種」の特徴や習性等を調べておくこと。また、授業前には、前回の授業の振り返りを行いますので、学んだことを整理してノートにまとめておいてください。
評価方法	筆記試験/実技試験 中間評価(筆記):40% 期末評価(実技):60%
【使用教科書・教材・参考書】	
JKC犬種標準書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	酒井志保
	(Practice of GroomingⅢ)	授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	前期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1～6時限
【授業の学習内容】 トリミング技術の基礎をさらに学ぶと同時に多犬種のデザインカットを基礎から学ぶ。 身に付けた技術を応用できるようになる。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得。 2023年よりビションフリーゼのブリーディング継続創設。サロンmarshmallomanの代表。 ジャパンケネルクラブ公認審査員。							
【到達目標】 トリミング技術の基礎をマスターし、応用的なカットに取り組み、さらに技術の向上を目指す。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	2年生の振り返り 前期の目標立て
2回目	ブローバリカンの徹底 犬種別・様々なカット
3回目	バリカンの際のトリミング徹底 犬種別・様々なカット
4回目	ウエストの位置 型の徹底 犬種別・様々なカット
5回目	アンダーラインの徹底 犬種別・様々なカット
6回目	お尻からアングレーションの徹底 犬種別・様々なカット
7回目	後肢の形 犬種別・様々なカット
8回目	肩 胸の徹底 犬種別・様々なカット
9回目	前肢の徹底(円柱について) 犬種別・様々なカット
10回目	前胸の形 犬種別・様々なカット
11回目	頭部の徹底(ラム、テディ、シーズー、マルチーズ、ポメラニアン、シュナ)
12回目	トップラインの徹底 犬種別・様々なカット
13回目	犬種別・様々なカット
14回目	犬種別・様々なカット
15回目	前期を振り返り、後期の目標立て
準備学習 時間外学習	苦手箇所の克服の為、1・2年生授業へ参加。
評価方法	授業内評価 50点 ノート レポート提出物 50点
【使用教科書・教材・参考書】 モデル犬 自分のトリミング保存写真 レポート プリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	酒井志保
	(Practice of GroomingⅢ)	授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	後期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1～6時限
【授業の学習内容】 トリミング技術の基礎をさらに学ぶと同時に多犬種のデザインカットを基礎から学ぶ。 身に付けた技術を応用できるようになる。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得。 2023年よりビションフリーゼのブリーディング継続創設。サロンmarshmallomanの代表。 ジャパンケネルクラブ公認審査員。							
【到達目標】 トリミング技術の基礎をマスターし、応用的なカットに取り組み、さらに技術の向上を目指す。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	犬種別・様々なカット
2回目	犬種別・様々なカット
3回目	犬種別・様々なカット
4回目	犬種別・様々なカット
5回目	犬種別・様々なカット
6回目	犬種別・様々なカット
7回目	犬種別・様々なカット
8回目	犬種別・様々なカット
9回目	犬種別・様々なカット
10回目	犬種別・様々なカット
11回目	犬種別・様々なカット
12回目	犬種別・様々なカット
13回目	犬種別・様々なカット
14回目	犬種別・様々なカット
15回目	犬種別・様々なカット
準備学習 時間外学習	苦手箇所の克服の為、1・2年生授業へ参加。
評価方法	授業内評価 50点 ノート レポート提出物 50点
【使用教科書・教材・参考書】 モデル犬 自分のトリミング保存写真 レポート プリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	(選)トリミング演習Ⅳ (Practice of GroomingⅣ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	酒井志保
		授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1～6時限
【授業の学習内容】							
卒後のJKC公認トリマーライセンスA・B級試験合格を目指し、さらにトリミング技術の向上を目指す。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得。 2023年よりビションフリーゼのブリーディング継続創設。サロンmarshmallomanの代表。 ジャパンケネルクラブ公認審査員。							
【到達目標】							
トリミング技術の基礎をマスターし、トリミング技術の高みを目指すためにJKC公認トリマーライセンスA・B級を合格のレベルに近づくことを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	授業の流れ スタンダードとトリミング 環境とトリミング
2回目	ショートリミング・ペットトリミング
3回目	ブードル スタンダード改
4回目	ブードル トリミング ショークリップ ①
5回目	ブードル トリミング ショークリップ ②
6回目	ビションフリーゼ トリミング
7回目	ペドリントンテリア ケリーブルーテリア トリミング
8回目	ブラッキングの必要性 トリミング
9回目	長脚テリア・短脚テリアのトリミング
10回目	スパニエル犬種のトリミング
11回目	犬種別トリミング 短毛
12回目	犬種別トリミング 長毛
13回目	ブラッシングについて
14回目	シャンプーイングについて
15回目	グルーミング検定対策 ノート提出
準備学習 時間外学習	苦手箇所の克服。
評価方法	授業内評価・ノート提出物100%
【使用教科書・教材・参考書】	
JKCグルーミングマニュアル 滋慶グルーミングテキスト	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	(選)トリミング演習Ⅳ (Practice of GroomingⅣ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	酒井志保
		授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	木曜日1～6時限
【授業の学習内容】 卒後のJKC公認トリマーライセンスA・B級試験合格を目指し、さらにトリミング技術の向上を目指す。 ※担当教員実務経験:JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得。 2023年よりビションフリーゼのブリーディング継続創設。サロンmarshmallomanの代表。 ジャパンケネルクラブ公認審査員。							
【到達目標】 トリミング技術の基礎をマスターし、トリミング技術の高みを目指すためにJKC公認トリマーライセンスA・B級を合格のレベルに近づくことを目標とする。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	トリミング犬種 仕上げ120分
2回目	トリミング犬種 仕上げ120分
3回目	トリミング犬種 仕上げ120分
4回目	トリミング犬種 仕上げ120分
5回目	トリミング犬種 仕上げ120分
6回目	トリミング犬種 仕上げ120分
7回目	トリミング犬種 仕上げ120分
8回目	トリミング犬種 仕上げ120分
9回目	トリミング犬種 仕上げ120分
10回目	トリミング犬種 仕上げ120分
11回目	トリミング犬種 仕上げ120分
12回目	トリミング犬種 仕上げ120分
13回目	トリミング犬種 仕上げ120分
14回目	トリミング犬種 仕上げ120分
15回目	トリミング犬種 仕上げ120分
準備学習 時間外学習	苦手箇所の克服。
評価方法	授業内評価・ノート提出物100%
【使用教科書・教材・参考書】 JKCグルーミングマニュアル 滋慶グルーミングテキスト	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物看護演習	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	佐藤友紀 (福岡動物医療センター)
	(Practice of Veterinary Nursing)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1・2時限
【授業の学習内容】 動物看護師及び動物看護助手には獣医師のおこなう傷病動物への処置を補助し、動物の回復を支援していく役割がある。動物病院においてペットリマーも動物看護助手としての仕事を兼務すること多い。この科目では動物に対し施される処置の補助に関わる知識・技術を身に付ける。							
※実務経験者: 獣医師・動物医療センター春日 院長 米国テネシー大学公認 C.C.R.P.(Certified Canine Rehabilitation Practitioner)資格取得(アメリカ・テネシー大学認定の動物理学療法士)。 福岡動物医療センター及びリハビリセンターで獣医師・動物理学療法士としても小動物の治療にあたる。							
【到達目標】 検査機器や処置の内容を理解し、動物病院で勤務する上で必要な知識・スキルを身につけ獣医師の治療の補助ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	●授業オリエンテーション ●職業倫理
2回目	●体の仕組み(骨格) ●基本保定
3回目	●バイタル測定
4回目	●聴診方法
5回目	●身体一般検査
6回目	●復習(第2回～第5回分)
7回目	●駆血の方法 ●採血時の準備 ●血液検査の方法
8回目	●治療や処置時、検査時の保定方法
9回目	●復習(第7回～第8回分)
10回目	●皮膚の構造
11回目	●皮膚の病気
12回目	●薬浴治療について
13回目	●復習(第10回～第12回分)
14回目	●振り返り
15回目	総復習
準備学習 時間外学習	毎回、授業の初めに内容を復習し質疑応答を行います。 他の授業との関連性を持たせておく。(各自、授業の復習を行っておくこと)
評価方法	筆記テスト: 60% 出席率: 10% 授業への積極性(実技チェック): 30%
【使用教科書・教材・参考書】 学習プリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	動物看護演習	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	佐藤友紀 (福岡動物医療センター)
	(Practice of Veterinary Nursing)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステシアン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	火曜日1・2時限
【授業の学習内容】 動物看護師及び動物看護助手には獣医師のおこなう傷病動物への処置を補助し、動物の回復を支援していく役割がある。動物病院においてペットリマーも動物看護助手としての仕事を兼務すること多い。この科目では動物に対し施される処置の補助に関わる知識・技術を身に付ける。							
※実務経験者: 獣医師・動物医療センター春日 院長 米国テネシー大学公認 C.C.R.P.(Certified Canine Rehabilitation Practitioner)資格取得(アメリカ・テネシー大学認定の動物理学療法士)。 福岡動物医療センター及びリハビリセンターで獣医師・動物理学療法士としても小動物の治療にあたる。							
【到達目標】 検査機器や処置の内容を理解し、動物病院で勤務する上で必要な知識・スキルを身につけ獣医師の治療の補助ができるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	●投薬について ●希釈の計算
2回目	●投薬実習 ●強制給餌の方法
3回目	●復習(第1回～2回) ●耳の解剖 ●耳の病気について
4回目	●耳の処置の保定・補助
5回目	●口腔衛生 ○歯の構造 ○歯式 ○歯磨きの道具と方法
6回目	●口腔衛生 ○歯磨き実習
7回目	●復習(第3回～第6回)
8回目	●便検査 ●尿検査
9回目	●便検査と尿検査の実習
10回目	●復習(第8回～9回)
11回目	●動物の理学療法
12回目	●動物の理学療法
13回目	●復習(第11回～第12回)
14回目	振り返り
15回目	総復習
準備学習 時間外学習	毎回、授業の初めに内容を復習し質疑応答を行います。 他の授業との関連性を持たせておく。(各自、授業の復習を行っておくこと)
評価方法	筆記テスト: 60% 出席率: 10% 授業への積極性(実技チェック): 30%
【使用教科書・教材・参考書】 学習プリント	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ショップマネジメントⅡ (Shop management-Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	布村 道子
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日1時限
【授業の学習内容】							
ショップやサロンを開き、安定して経営していくために必要な知識を学ぶ。開業前の準備段階に必要な分野(マーケティング・ブランディング)など。また、最新の経済・ビジネスの動向解説を入れてビジネスの関心を高めるとともに、起業家・経営者として必要なマインドセットを行う。 ※担当教員実務経験:公務員として勤務後、株式会社を設立。スクール事業などを展開。経営コンサルティング(平成25年から)							
【到達目標】							
①店舗経営に必要な知識を身につけ、日常生活で飲食店や小売店を訪れた際に、そのビジネスモデルや利益構造について興味を持って見る事ができる ②既存の企業や店のビジネスモデルを自分なりに分析することができる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己紹介・授業ガイダンス・2024年上半期のビジネス動向解説
2回目	創業計画とビジネスアイデアの創造
3回目	事業戦略:競争上の地位に応じた戦略
4回目	《演習》具体的企業の事業戦略について
5回目	《ビジネス会計①》 貸借対照表
6回目	《ビジネス会計②》 損益計算書
7回目	《演習》財務諸表を読み解く
8回目	《ブランディング》価格競争に依らない戦略について学ぶ ※小テスト実施
9回目	《マーケティング①》マーチャンダイジングとマーケティング
10回目	《マーケティング②》製品ライフサイクル
11回目	立地論:立地戦略と出店計画
12回目	《起業セミナー》開業の種類とその方法
13回目	《演習》開業届をかいてみよう、これまでのまとめ
14回目	評価試験および振り返り
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	新聞、ニュース、インターネットなどから、現在ビジネスで伸びている会社やサービスについて情報収集をすることが望まれる。
評価方法	・小テスト:10% ・筆記試験:70% ・平常点:10% ・出席点:10%
【使用教科書・教材・参考書】	
自作プリント、『商品構成』 渥美俊一著、『グロービスMBAマネジメントブック』グロービス経営大学院著、《動画》東京ビジネスオンデマンド	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ショップマネジメントⅡ (Shop management-Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	布村道子
		授業形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	金曜日1時限

【授業の学習内容】

ショップやサロンを開き、安定して経営していくために必要な知識を学ぶ。開業前の準備段階で必要な分野(マーケティング・ブランディングなど)。また、最新の経済・ビジネスの動向解説を適宜入れてビジネスへの関心を高めるとともに、起業家・経営者として必要なマインドセットを行う。

※担当教員実務経験:公務員として勤務後、株式会社を設立。スクール事業などを展開。経営コンサルティング(平成25年から)

【到達目標】

店舗経営に必要な知識を身につけるとともに、将来の開業を見据えて自発的に世の中の動きを見られるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業ガイダンス、前期の振り返り、2024年下半期のビジネス動向解説
2回目	ビジネスモデルパターン分析、マッピング
3回目	《商品設計①》フロント・バックエンド、価格設定
4回目	《商品設計②》マージンミックス
5回目	《商品設計③》ABC分析、LTV、キャッシュフロー
6回目	《開業時に必要な数字①》 分配率
7回目	労務管理 ※小テスト実施
8回目	《開業時に必要な数字②》 ROI、融資額の決め方
9回目	個人事業主および法人の税金について
10回目	財務諸表の見方(基礎)
11回目	人・組織のマネジメント、リーダーシップ論
12回目	《演習》 ビジネスモデル分析
13回目	《演習》 ビジネスモデル分析発表、これまでの振り返り
14回目	評価試験及び振り返り
15回目	テスト解説

準備学習
時間外学習

新聞、ニュース、インターネットなどから、現在ビジネスで伸びている会社やサービスについて情報収集をすることが望まれる。

評価方法

- ・小テスト:10%、
- ・筆記試験:70%
- ・平常点:10%
- ・出席点:10%

【使用教科書・教材・参考書】

自作プリント、『商品構成』渥美俊一著、『グロービスMBAマネジメントブック』グロービス経営大学院著、《動画》東京ビジネスオンデマンド

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	卒業課題 (Graduation Study)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	林田 新太郎
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 学んだ専門知識や技術の集大成として、学習成果が卒業に値する実力を修得しているか課題に取り組み、課題の研究発表または実技の披露を行う。 企業課題の取り組みとしてWe are ECOで発表することで3年間の学習の集大成とする。							
【到達目標】 学習成果(知識・技術)をパワーポイントやポスター展示、研究発表として実技披露やプレゼンテーションとして発表。 ※担当教員: 中学校・高等学校社会科教員免許取得。13年間義務制学校勤務。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	卒業課題とは① ～卒業課題の意義や目的・目標を明確にする～
2回目	卒業課題とは② ～過去の先輩たちの事例紹介～
3回目	卒業課題の進め方 ～発表までの流れやスケジューリングの確認～
4回目	テーマの決定 ～テーマを班内でのディスカッションで探す～
5回目	実践学習① ～自分(班)のテーマに沿って仮説と実証実験～
6回目	実践学習② ～途中経過の報告～
7回目	実践学習③ ～前回のアドバイスを基に発表内容を改良する～
8回目	発表準備① ～パワーポイント作成～
9回目	発表準備② ～パワーポイント作成～
10回目	発表準備③ ～パワーポイント作成～
11回目	発表準備④ ～パワーポイント作成～
12回目	発表準備⑤ ～パワーポイント作成～
13回目	発表①
14回目	発表②
15回目	卒業課題の振り返り ～各自(班内)で意見交換、発表～
準備学習 時間外学習	各自(各班)で意見交換を随時行う。 また、もらった意見を次に繋げる学習をすること。
評価方法	・発表内容:80% ・課題への参加度:20%
【使用教科書・教材・参考書】 専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	業界研修	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
	(Business Internship)	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	随時
専攻名	ペットトリマー専攻 ペットトリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学生が目指す業界の企業または、それに準ずる組織・施設・個人等で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標を前に、自身の進路を明確にするとともに各業界施設での「身構え・気構え・心構え」を知り、就職活動とする。

※担当教員実務経験: 研修先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

- ・業界へのイメージと現実のギャップを軽減させる。
- ・実際の動物業界での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを図ることができるようになる。
- ・社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学び身に付ける。
- ・自らの「キャリア」をデザインできる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	インターンシップ参加における目的の確認と目標設定
2回目	企業研究、履歴書作成
3回目	インターンシップ参加
4回目	インターンシップ参加
5回目	インターンシップ参加
6回目	インターンシップ参加
7回目	インターンシップ参加
8回目	インターンシップ参加
9回目	インターンシップ参加
10回目	インターンシップ参加
11回目	インターンシップ参加
12回目	インターンシップ参加
13回目	インターンシップ参加
14回目	研修ノートのまとめ、お礼状作成、レポート作成
15回目	報告会
準備学習 時間外学習	・事前に企業研究、インターンシップ先の選定活動 ・インターンシップ後の研修ノートまとめ、レポート作成
評価方法	・研修ノート内容及び提出(80%) ・インターンシップ先企業からの評価表(20%) これらを総合的に判断して評価
【使用教科書・教材・参考書】	
キャリアセンターの参考情報	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別講義&見学 (Special Lecture)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 各業界で活躍で活躍中のプロフェッショナルから豊富な知識や技術、情報を頂くことで、将来のキャリアデザインに役立てる。 学内やオンラインを使用し講義を行い、実際に施設に訪問する。 ※担当教員実務経験：訪問先施設にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】 ・動物業界に必要な知識や技術を理解し、身に付ける。 ・動物業界に必要な人間力を理解し、身に付ける。 ・これから動物業界で必要となってくる専門性と人間性を知る。 ・授業、演習、インターンシップに活かすことができる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	特別講義・見学施設の事前学習、まとめ
2回目	特別講義もしくは施設見学
3回目	特別講義もしくは施設見学
4回目	特別講義もしくは施設見学
5回目	特別講義もしくは施設見学
6回目	特別講義もしくは施設見学
7回目	特別講義もしくは施設見学
8回目	レポート作成
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・特別講義内容もしくは見学施設の事前学習 ・講義後もしくは見学後のレポートのまとめ
評価方法	・レポート(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 キャリアセンターの参考情報	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	イベント運営 (Event Management)	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	各イベント実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

学習成果の発表の場としてのイベントを行い、修得した専門知識や技術を実践する。
企画立案から運営まで学生主体となって実践し、接客力、コミュニケーション力も上げる。

※担当教員：各イベントにおける実務従事者より指導頂く。

【到達目標】

- ・企画立案、運営ができるようになる。
- ・マネジメント(セルフ・チーム・リスク)を理解し、実践できるようになる。
- ・接客を知り、実践できるようになる。
- ・ホスピタリティマインドを理解し、実践できる。
- ・予算管理を実践し習得する。
- ・スケジュールリングを理解し、実践できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	企業からのプレゼンテーション～イベントの概要の共有、スケジュール～
2回目	イベントの企画立案①
3回目	イベントの企画立案②
4回目	企業へのプレゼンテーション
5回目	イベント準備①
6回目	イベント準備②
7回目	実施日～実演、展示、発表～
8回目	まとめ～レポートにまとめ、各班で発表～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・各自、目的に沿った案を考える ・イベント後レポートにまとめる
評価方法	・準備(50%) ・レポート(50%)
【使用教科書・教材・参考書】	
過去のイベント資料	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別課外活動	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	各クラブ顧問
	(Club Activities)	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 学生会活動やクラブ活動を通してチームワークや企画、運営力を養う。 ※担当教員：各クラブ担当顧問より指導頂く。							
【到達目標】 ・チームワークを身に付ける。 ・計画性を身に付ける。 ・予算管理を身に付ける。 ・マネジメントを理解し身に付ける。							

授業計画・内容	
1回目	各クラブにおける目的の確認
2回目	各クラブ活動を実践
3回目	各クラブ活動を実践
4回目	各クラブ活動を実践
5回目	各クラブ活動を実践
6回目	各クラブ活動を実践
7回目	各クラブ活動を実践
8回目	各クラブ活動を実践
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	・日報や日誌、報告書を作成すること。
評価方法	・クラブ活動態度(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 ・各クラブ活動月報、日報、日誌、報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	ボランティア活動 (Volunteer Work)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 市民社会の形成に貢献するために様々な形のボランティア活動を行う。 ※担当教員:各施設・イベントにおける実務従事者より指導頂く。							
【到達目標】 ・ボランティア活動の目的を理解し、実践することで奉仕する心を身に付ける。 ・社会の中の自分の存在を理解し、社会貢献の意識を持つことができるようになる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	プレゼンテーション～主催者からの趣旨説明～
2回目	ボランティア活動
3回目	ボランティア活動
4回目	ボランティア活動
5回目	ボランティア活動
6回目	ボランティア活動
7回目	ボランティア活動
8回目	まとめ～レポート、報告会～
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	実施前後のレポートのまとめを行うこと。
評価方法	レポート(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 過去のボランティア活動報告書	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	資格取得講座 (Seminar for a Qualification)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	各施設実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	随時
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】 各専攻・各学年で学んだ専門知識や技術の更なるレベルアップを図るために、検定試験に挑戦し、資格取得を目指す。 ※担当教員：各施設・資格取得における実務従事者及び指導者より指導頂く。							
【到達目標】 ・各検定試験、資格試験の合格							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
2回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
3回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
4回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
5回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
6回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
7回目	資格試験対策講座、検定試験対策、演習
8回目	資格検定試験
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	毎回の授業前後の資格検定対策教本の予習、復習を行うこと。
評価方法	資格取得、検定合格(100%)
【使用教科書・教材・参考書】 過去の各検定、資格教本	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training for Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時
【授業の学習内容】							
就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。 ※担当教員実務経験:就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。							
【到達目標】							
1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。 2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。 3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる
準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめること。
評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
【使用教科書・教材・参考書】	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project for Prospective Employees)	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
		授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	後期
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

※担当教員実務経験:就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。
2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (1)
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (2)
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (3)
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (4)
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (5)
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (1)
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (2)
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (1)
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (2)
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (3)
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (4)
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめること。
評価方法	課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する(100%)。
【使用教科書・教材・参考書】	

2024年度 シラバス

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Graduate Assignment for Prospective Employees)	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	就職内定先企業実務従事者
専攻名	ペットリマー専攻 ペットリマー&エステティシャン専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	後期
		実施方法	対面授業			曜日・時限	随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。
プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。
実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

※担当教員実務経験:就職内定先にて実務に従事している方より指導頂く。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	イベントの企画・立案力:30% プレゼンテーション力:30% 実践力:40% 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。
【使用教科書・教材・参考書】	